

 *Cuwano.*
Books Cafe Space

あなたへ本を届けたい

～ふくおかの書店・図書館のおすすめ本リスト～



あなたへ本を届けたい

～ふくおかの書店・図書館のおすすめ本～

あなたの街に本屋さんはありますか？

近年、国内では書店の数が減少し、地域で本と出会う機会が少なくなっています。

書店で本を選ぶときのわくわく感、手に入れた本を夢中で読む喜び、読み終えた本が本棚に並んでいく満足感。こうした一つひとつの体験は、私たちの楽しみや学びとなり、人生を豊かにしてくれました。

これらの体験が次の世代に受け継がれないとしたら——。

私たちは大切な文化の拠り所を失ってしまうのではないかでしょうか。人生をより深く生きる力を育むうえで、読書は欠かせないもの。誰にとっても、本が身边に寄り添う社会であってほしいと願っています。

図書館と書店とは、立場こそ異なりますが、読書文化を愛し「あなたへ本を届けたい」という同じ想いを持っています。

この展示では、福岡県内の書店と公共図書館が、それぞれの視点から「届けたい本」を紹介します。

紹介本の中には、図書館に所蔵されていない本もあります。

気になった本や、図書館で読んでみて気に入った本は、ぜひ街の書店で注文してみてください。

書店へ出かけましょう！

ここで紹介した本以外にも、新たな出会いがあなたを待っていますよ。

ふくおか資料室ウェブサイト「福岡の出版社と書店」
を御覧ください。書店マップを掲載しています →



ふくおかの書店おすすめ本

	書店名	タイトル	著者	出版者	出版年	県立所蔵	県立貸出	
1	オッキドッキ書店	フレデリック ちょっとかわったのね ずみのはなし	レオ=レオニ／作, 谷川 俊太郎／訳	好学社	1969	○	○	p. 5
2	オッキドッキ書店	Goodnight moon 【邦題：おやすみなさいおつきさま】	by Margaret Wise Brown, pictures by Clement Hurd	HarperCollins Publishers	2005	○	○	
3	オッキドッキ書店	うまかたやまんば	おざわ としお／再話, 赤 羽 末吉／画	福音館書店	1988	○	○	
4	麒麟書店	おかあさんだいすきだよ	みやにし たつや／作絵	金の星社	2014	○	○	p. 6
5	麒麟書店	ジロッ	おおなり 修司／文, たけ がみ たえ／絵	絵本館	2022	×	×	
6	麒麟書店	おだんごバス	ばば まほ／さく・え	ひかりのくに	2025	×	×	
7	cuwano.Books Cafe Space	無人島のふたり 120日以上生きなく ちゃ日記	山本 文緒／著	新潮社	2022	○	○	p. 7
8	cuwano.Books Cafe Space	コーヒーと楽しむ心がほんのり明るく なる50の物語	西沢 泰生／著	PHP研究所	2021	×	×	
9	cuwano.Books Cafe Space	スタッフロール Staffroll	深緑 野分／著	文藝春秋	2022	○	○	
10	コトリノ・古書店	草木鳥鳥文様	梨木 香歩／文, ユカワ アツコ／絵, 長島 有里枝 ／写真	福音館書店	2021	○	○	p. 8
11	作本書店	負け戦でござる。	北九州豊前国敗者列伝 小 野 剛史／著	花乱社	2022	○	○	p. 9
12	作本書店	あの夏のクライフ同盟 THE JOHAN CRUIJFF CLUB IN THAT SUMMER	増山 実／著	幻冬舎	2024	○	○	
13	書肆 吾輩堂（しょし わがは いどう）	<猫>の社会学 猫から見る日本の近世 ～現代	遠藤 薫／著	勁草書房	2023	×	×	p. 10
14	書肆 吾輩堂（しょし わがは いどう）	ここにいるよ Je suis là	シズカ／作・絵	月とコンパス	2023	×	×	
15	書肆 吾輩堂（しょし わがは いどう）	小八 出口かずみ画集 Kohachi	出口 かずみ／著	ON READING, 果林社(発売)	2023	×	×	
16	taramu books & café	複業ZINE	gasi editorial／編	gasi editorial, タバブックス (発売)	2025	○	○	p. 11
17	taramu books & café	私が私らしく死ぬために 自分のお葬 式ハンドブック	野口 理恵／編・著・写 真・装幀	rn press	2024	×	×	
18	taramu books & café	おだんごバス	ばば まほ／さく・え	ひかりのくに	2025	×	×	
19	テントセンブックス	点と線	松本 清張／著	新潮社	2003	○	×	p. 12
20	テントセンブックス	田沼時代	辻 善之助／著	岩波書店	1980	×	×	
21	テントセンブックス	たった一人のオリンピック	山際 淳司/[著]	KADOKAWA	2020	○	○	
22	ナツメ書店	ともだちは海のにおい	工藤 直子／作, 長 新太 ／絵	理論社	2004	○	○	p. 13
23	ナツメ書店	歩きながらはじまること	西尾勝彦詩集 西尾 勝彦 ／著	七月堂	2018	○	○	
24	ナツメ書店	文鳥・夢十夜・永日小品	夏目 漱石/[著]	KADOKAWA	1970	×	×	

	書店名	タイトル	著者	出版者	出版年	県立所蔵	県立貸出	
25	ニワノホンヤ	きょうはマラカスのひ	樋勝 朋巳／文・絵	福音館書店	2013	○	○	p. 14
26	ニワノホンヤ	たこたこじいさん おどればみんなニッコニコ!	やおい ひでひと／作	ポプラ社	2025	○	○	
27	ニワノホンヤ	どたばたへなちょこ探偵団 ねらわれた宝石ピッグアイ	藤本 ともひこ／作	文研出版	2022	×	×	
28	羊の本屋	あくたれラルフ	ジャック・ガントス／さく, ニコール・ルーベル／え, いしい ももこ／やく	福音館書店	1982	○	○	p. 15
29	羊の本屋	ふわふわくんとアルフレッド	ドロシー・マリノ／文・絵, 石井 桃子／訳	岩波書店	1977	○	○	
30	羊の本屋	目で見ることばで話をさせて	アン・クレア・レゾット／作, 横山 和江／訳	岩波書店	2022	○	○	
31	ひまわりこども書店	もりのかくれんぼう	末吉 晓子／作, 林 明子／絵	偕成社	1979	○	○	p. 16
32	ひまわりこども書店	きつねのホイティ	シビル・ウェッタシンハ／さく, まつおか きょうこ／やく	福音館書店	1994	○	○	
33	ひまわりこども書店	父は空 母は大地 インディアンからの伝言	寮 美千子／編・訳, 篠崎 正喜／画	ロクリン社	2016	○	○	
34	文久ブックストア 高宮駅前店	星の王子さま Le Petit Prince	サン=テグジュペリ／原作, スティーブン・チョイ／絵・著, 八重樫 慶／訳	オーイズミ・アミュージオ, 主婦と生活社(発売)	2024	×	×	p. 17
35	文久ブックストア 高宮駅前店	覚悟の磨き方 超訳吉田松陰, 時代のすべての異端児たちへ	池田 貴将／編訳	サンクチュアリ出版	2013	○	○	
36	文久ブックストア 高宮駅前店	モモ 絵本版	ミヒヤエル・エンデ／文, シモーナ・チェッカレツリ／絵, 松永 美穂／訳	光文社	2024	×	×	
37	文喫 福岡天神	そして誰もゆとらなくなつた	朝井 リョウ／著	文藝春秋	2022	○	○	p. 18
38	文喫 福岡天神	饗宴	プラトン／著, 中澤 務／訳	光文社	2013	○	○	
39	文喫 福岡天神	古いぬいぐるみのはなし	田村 ふみ湖／著	産業編集センター	2022	○	○	
40	本のこんどう (近藤書店)	破獄	吉村 昭／著	岩波書店	1983	○	○	p. 19
41	本屋くるり	古くてあたらしい仕事	島田 潤一郎／著	新潮社	2019	○	○	p. 20
42	本屋くるり	ちいさな言葉	俵 万智／著	岩波書店	2010	○	○	
43	LIBRIS KOBACO	感動	齋藤 陽道／[撮影]	赤々舎	2011	○	○	p. 21
44	LIBRIS KOBACO	針の落ちる音 Hear a pin drop	林 詩硯／[撮影]	赤々舎	2024	×	×	
45	LIBRIS KOBACO	字	富澤大輔	南方書局	2022	×	×	
46	LUMO BOOKS	絶滅しない! ぼくがまぼろしの動物を探す理由	宗像 充／著	旬報社	2022	○	○	p. 22
47	LUMO BOOKS	漂流	吉村 昭／著	新潮社	1980	○	○	
48	LUMO BOOKS	三国志を歩く中国を知る	坂本 信博／著	西日本新聞社	2024	○	○	

ふくおかの図書館のおすすめ本

	図書館名	タイトル	著者	出版者	出版年	県立所蔵	県立貸出	
1	福岡市総合図書館	シーサイドももち 海水浴と博覧会が開いた福岡市の未来	福岡市史編集委員会／編集	福岡市, 梓書院(発売)	2022	○	○	p. 23
2	大牟田市立図書館	えげつない! 寄生生物	成田 聰子／著	新潮社	2020	○	○	p. 23
3	久留米市立中央図書館	蜩ノ記	葉室 麟／著	祥伝社	2011	○	○	p. 24
4	飯塚市立飯塚図書館	地図と絵で見る飯塚地方誌	飯塚地方誌編纂委員会/編	元野木書店	1975	○	○	p. 25
5	飯塚市立ちくほ図書館	ながのばあちゃんの食術指南	長野 路代／著, 佐藤 弘／著	西日本新聞社	2015	○	○	p. 26
6	飯塚市立庄内図書館	あーといってよあー	小野寺 悅子／ぶん, 堀川 理万子／え	福音館書店	2015	○	○	p. 26
7	飯塚市立穂波図書館	野見山暁治 人はどこまでいけるか	野見山 暁治/[著], のこす 言葉編集部／編・構成	平凡社	2018	○	○	p. 27
8	飯塚市立顕田図書館	めくって学べるしきみ図鑑シリーズ	※シリーズものの図鑑です	学研プラス	2018-	×	×	p. 27
9	田川市立図書館	希望が死んだ夜に	天祐 凉／著	文藝春秋	2017	○	○	p. 28
10	筑後市立図書館	Love Letter 私への手紙	くすのき しげのり／作, 松本 春野／絵	瑞雲舎	2024	×	×	p. 28
11	大川市立図書館	白仏	辻 仁成／著	文藝春秋	2000	○	○	p. 29
12	中間市民図書館	歳月	茨木 のり子／著	花神社	2007	×	×	p. 29
13	小郡市立図書館	天に星 地に花	帚木 蓬生／著	集英社	2014	○	○	p. 30
14	筑紫野市民図書館	四つの小さなパン切れ	マグダ・オランデール=ラフォン/[著], 高橋 啓／訳	みすず書房	2013	○	○	p. 30
15	春日市民図書館	Kasuga 春日市民も知らない、春日	福岡県春日市	株式会社宣伝会議(発売)	2022	○	×	p. 31
16	大野城まどかぴあ図書館	心も体ももっと、ととのう薬膳の食卓365日	川手 鮎子／著	自由国民社	2023	×	×	p. 31
17	宗像市民図書館中央館	線は、僕を描く	砥上 裕将／著	講談社	2019	○	○	p. 32
18	宗像市民図書館深田分館	ほくとのみずくみ	平松 秋子／文, ほりうち ひろこ／絵, 平井 正則／監修	梓書院	2019	○	○	p. 32
19	宗像市民図書館 須恵分館	その〈男らしさ〉はどこからきたの?	小林美香／著	朝日新聞出版	2025	×	×	p. 33
20	宗像市民図書館 久原分室 えほんのへや	おかあさんがおかあさんになった日	長野 ヒデ子／さく	童心社	2015	○	○	p. 33
21	朝倉市図書館	伝染病に挑んだ人々 予防接種秋月物語	隈部 敏明／文, 梶原 明彦／絵, 朝倉市秋月博物館／監修	「予防接種は秋月藩から始まった」キャンペーン推進協議会	2022	○	○	p. 34
22	糸島市立図書館	ソイ・ストーリー まんが家はタイの小路をゆく soi story	小林 真理子／著	KADOKAWA	2024	×	×	p. 34
23	那珂川市図書館	きみが校長をやればいい 1年で国公立大合格者を0人→20人にした定員割れ私立女子商業高校の挑戦	柴山 翔太／著	日本能率協会マネジメントセンター	2023	○	○	p. 35
24	宇美町立図書館	「幽霊と探偵」シリーズ	山口 幸三郎／[著]	KADOKAWA	2022-	×	×	p. 35
25	篠栗町立図書館	篠栗四国八十八カ所霊場 公式ガイドブック	篠栗霊場会法青会／企画・編纂	篠栗霊場会法青会	2023	○	○	p. 36
26	志免町立町民図書館	ホスピスさよならのスマイル	五味 宏基／写真, 岩本 宣明／編	弦書房	2008	○	×	p. 36

	図書館名	タイトル	著者	出版者	出版年	県立所蔵	県立貸出	
32	水巻町図書館	フリースタイル言語学 Freestyle Linguistics	川原 繁人／著	大和書房	2022	○	○	p.37
33	岡垣サンリーアイ図書館	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット／著, 渡辺 茂男／訳	福音館書店	1966	○	○	p.37
34	桂川町立図書館	小泉八雲の怪談 スラヨミ!現代語訳	小泉 八雲／作, 松尾 清貴／訳	理論社	2025	○	○	p.38
35	大刀洗町立図書館	涙の箱	ハン ガン／作, きむ ふな／訳	評論社	2025	○	○	p.38
36	大木町図書・情報センター	TRUE Colors YA! ジェンダーフリー・アンソロジー	小林 深雪／[著], にかいどう 青／[著], 長谷川 まりる／[著], 如月 かずさ／[著], 水野 瑠見／[著], 菅野 雪虫／[著], 鎌谷 悠希／画・漫画	講談社	2023	○	○	p.39
37	広川町立図書館	うろおぼえ一家のおかいもの	出口 かずみ／作	理論社	2021	○	○	p.39
38	添田町立図書館	三発目の”原爆” ニ又トンネル爆発体験	佐々木 盛弘 文と絵	福岡県人権研究所	2010	○	○	p.40
39	苅田町立図書館	こんとあき	林 明子／さく	福音館書店	1989	○	○	p.40
40	みやこ町図書館	吉田兄弟物語 吉田増蔵・吉田健作, マンガふるさとの偉人	みやこ町マンガ製作活用検討委員会／編著・協力, もちなが しのぶ／マンガ, 向山廉平／マンガ, 井上 信隆／原作	みやこ町	2023	○	○	p.41
41	福岡県立図書館	ことばの番人	高橋 秀実／著	集英社インターナショナル	2024	○	○	p.41

オッキドッキ書店

【住所】
〒814-0003
福岡市早良区城西2-11-29
サン岡山105号

【電話】
080-5696-7957

【営業時間】
12:00~19:00

【定休日】
不定休 (SNSでご確認ください)



アパートの1室で営業している小さな本屋です。
日本語と英語の本・絵本を取り扱っています。

外国语を学ぶためには、母国語としての日本語をしっかりと身につけることが大切だと考えています。

子どもたちに、まずは日本語で、そして英語でたくさんの本や絵本に触れて欲しいです。

国内で親しまれている絵本やその英語版、英語を学ぶための本など、子供たちに届けたい本を厳選しています。

わくわくする本を並べて、テーブルでゆっくりと試し読みができるようにしています。

お子さんを連れて、ぜひ本に出会いに来てください。
お待ちしています。

Goodnight moon 【邦題：おやすみなさいおつきさま】

by Margaret Wise Brown, pictures by Clement Hurd
HarperCollins Publishers (2005)

夜の静けさが表紙からも伝わる絵本。オレンジ、黄色、緑、青、の4色の組み合わせから醸し出される独特のイメージにすっと入りこんでしまいます。お話は小さなネズミ（多分男の子）がベッドに入つて、部屋にある全てのものに"Goodnight~."と声をかけ、最後に"Goodnight stars.", "Goodnight air.", "Goodnight noises everywhere."でお話が終わります。

単純な流れですが/だから心地良い余韻を残します。そして、ちょっとした仕掛けも楽しめます。まづ、ページが交互に白黒とカラーになっている。部屋に飾られている月の上を飛んでいる牛の絵は、マザーグースの"Hey Diddle Diddle"に出てくる"the cow over the moon"を表し、もう一枚の3匹のこぐまの絵は昔話にある「3びきのこぐま」(または、"Three Bears and Goldilock")を表しています。おやすみ前に最適な絵本です。

フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし

レオ=レオニ／作、谷川 俊太郎／訳
好学社 (1969)

この絵本は子どもはもちろん、大人にも是非読んで欲しい絵本です。一言で言えば「芸術(家)は人の精神生活を豊かにし、元気づける役を持っている」と言えると思います。イソップのお話「アリとキリギリス」の真逆ですね。

のねずみのフレデリックは、冬ごもりのために仲間があくせく働いているとき、彼だけ働いていないと仲間に言われ、冬のために光、色、ことばを集めているのさ、と寝ぼけまなこで言うフレデリック。ちょっとうさんくさい。でも、いざ冬になって最初は満ち足りていた食料が減って行き、寒さも増していきます。そんなとき、フレデリックの光、色、ことば、が役に立つのです。自作の詩を仲間に褒められて顔を赤らめるフレデリックが可愛い。そもそものねずみたち、野原や光や色のイメージを貼り絵のコラージュで表現しているレオニの手法がストーリーを一層魅力的にしているのはいうまでもありません。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用
○ ○

うまかたやまんば

おざわ としお／再話、赤羽 末吉／画
福音館書店 (1988)

「牛方」「馬方」と「山姥」の話ほど様々なバージョンがあるお話も少ないのでしょうか。話が多少違っても共通するモチーフが人を惹きつけるのでしょう。この絵本では、簡潔で素朴な語り口にどこかユーモラスな赤羽末吉の絵が相乗作用を起こし、絵本の魅力を高めています。怖いやまんばに追いかけられて、魚も馬もやまんばに食べられてしまう前半は追われる怖さ、後半はそのやまんばに今度は仕返しをするという怖いものをやっつける爽快さの2段構えのストーリーになっています。

私が特に面白いと思うところは、やまんばが一つ食べては次を欲しがるというだんだんと襲ってくるという怖さ。子どもには是非読んでその「怖さ」と「怖さを克服した爽快さ」を味わって欲しい。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用
○ ○

福岡県立図書館
所蔵 貸出用
○ ○

麒麟書店

【住所】
〒836-0866
大牟田市上官町2丁目12-5

【電話】
0944-52-2216

【営業時間】
■麒麟書店 平日9:00-17:30
土/祝 9:00-17:00
■KIRINBOOKS cafe
平日11:00-16:00
土/祝 11:00-16:00

【定休日】日曜日



昭和6年創業の麒麟書店は、「絵本選びのお手伝い」を通して、子どもたちの成長を応援している「えほんやさん」です。

絵本の魅力を伝えるために「絵本のある子育てのおはなし会」「お母さんのための読み聞かせ」「絵本×ヨガ」などの活動を続け、Instagramでも「絵本のコト」を配信中です。また、子どもから大人までが安心してくつろげる居心地のよい空間を目指し、2024年には、店内に KIRINBOOKS cafe をオープン。定期的にPop-upやマルシェも開催しています。

ぜひ一度、ご家族でゆっくり遊びにいらしてください。

ふくおかの書店 麒麟書店 のおすすめ本

ジロッ

おおり 修司／文、たけがみ たえ／絵
絵本館 (2022)

子どもは「省略や飛躍」＝「シンプル」がたっぷりの絵本を読んでもらうと必然的に想像する側にまわります。

「絵を見る」だけでなく
「絵を読む」からです。

そこで湧き起こる子どもの「想像力」は大人が感じている以上に凄いのです。

まさにこの絵本は…

文字が少なく
絵をたっぷりと味わえ
自然に想像力がうまれる絵本。

さあ、
もっと気楽に絵本を楽しもう！

おかあさんだいすきだよ

みやにしたつや／作
金の星社 (2014)

「子どもを叱ってしまったママ
つい強い口調になってしまったママ
子どもの話に耳を傾けられなかったママ
散らかっている部屋にイライラしたママ
早くしなさいって急がせてしまったママ
絵本を読みながら寝落ちしちゃったママ
夜中に何度もタオルケットをかけたママ
怒ってばかりでごめんねって言ったママ
あなたのことが大好きだよって抱きしめたママ」

今日の私は、こんなママでした。

だけど子どもは…

私がどんなにおこりんぼうでも何度も許してくれて「だいすきだよ」と言ってくれます。

どんなに些細なことで意見がぶつかったとしても何度も仲直りをしてくれて「だいすきだよ」と言ってくれます。

この絵本は、子どもがどんな言葉をかけてもらうと嬉しいのか彼らの目線で描かれた素敵なおなじみです。

慌ただしい子育ての合間にこそ読んでほしい一冊です。



ふくおかの書店 麒麟書店 のおすすめ本

ふくおかの書店 麒麟書店 のおすすめ本

おだんごバス

ばばまほ／さく・え
ひかりのくに (2025)

草花が咲きほこる麗らかな日に
小さな生きものたちを乗せて
プッパーと走り出すのは、

三色団子の『おだんごバス』

「よもぎもちバスで」や「いちごだいふくバスで」
を過ぎて
「みたらしだんご」のトンネルを通るとどうなるでしょう？

2025年に絵本作家としてデビューした
大牟田出身のイラストレーター『ばばまほさん』。

デビュー作「おだんごバス」には、
『ばばまほさん』の地元大牟田を始め
福岡・九州の銘菓があちらこちらに隠れています。

また、
バスに乗っている生きものたちの
それぞれの物語にもご注目ください！！

見つけっこをしながら
何度もたっぷりとお楽しみいただけます。



cuwano.Books Cafe Space

【住所】
〒838-0068
朝倉市甘木1821-4

【電話】
Books 0946(28)7366
Cafe&Space 0946(28)7367

【営業時間】
Books 9:00-19:30
Cafe&Space 10:00-19:30

【定休日】毎週火曜日 第2月曜日



朝倉市甘木にある街の本屋です。
お立ち寄りいただいた方が、運命の一冊に出会えるお手伝いが出来るよう一冊一冊丁寧に本を選んでおります。

1Fはカフェを併設しており2Fはコワーキングスペースを設けています。街と人が繋がる拠点を目指し本、アート、音楽、ビジネス、美容など幅広くイベントも行っております。

cuwano. は全ての皆様を癒すとっておきの場所になれたらと思います。

コーヒーと楽しむ心がほんのり明るくなる50の物語

西沢 泰生／著
PHP研究所 (2021)

こちらの本は、1話の長さが4ページ程度でちょっとした休憩時間にすぐに読める作品です。

物語は全て実話になっていて、クスッと笑える【高田純次さんのアドリブギャグ集】や、【なぜトランプのジョーカーが強いのか】【可愛がられ上手】といった深くて考えさせられる話なども収録されていて、読んだ後は明るく、そして元気になります。

作品名の通り、コーヒーと共に素敵な読書タイムをお過ごしください♪



無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記

山本 文緒／著
新潮社 (2022)

2021年4月、すい臓がんを患い余命4ヶ月と宣告され、58歳という若さで亡くなられた山本文緒さん。

治療法はなく、抗がん剤をやめて緩和ケアを選び、コロナ禍での夫との生活を日記として書き記し始めた著者の人生最後の作品です。

がんの苦しみ、夫への感謝など、作家さんらしい言葉で紡いであり、読んでいて胸が苦しくなると同時に【書きたい】という気持ちが最期まで強かった方だったのだなと感じました。読んでいたらなぜこのタイトルにされたのかも紐解けると思います。読了後は【ファースト・プライオリティー】など、山本さんの他の作品も読んでみてください。



スタッフロール Staffroll

深緑 野分／著
文藝春秋 (2022)

第167回直木賞候補作。映画の特殊効果に魅せられた2人のクリエイターが、一本の映画を通じて繋がり合う物語です。

才能ある者がどれだけ良いものを作っても立場や性別などの理由で、正当な評価を受けられず心が折れていく映画製作業界で、2人の主人公が周囲の人々や環境、そして自分と戦いながら作品と向き合っていきます。

いつも私たちを楽しませてくれる映画ですが、映画の本当の主役は、スクリーンに映る俳優陣ではなく、最後に流れる【スタッフロール】に書かれている制作に携わったクリエイター達ではないかと思えた作品です。

海外が舞台ですので、スター・ウォーズやマーベルなどの洋画好きはもちろん、才能や周りの評価で苦しんでいる方や、制作活動を行っている方々におすすめです。



コトリノ・古書店

【住所】
〒815-0082
福岡市南区大楠2-17-3
井谷ビル305

【電話】
なし

【営業時間】
12:00~18:00

【定休日】
月・火・土・日曜日



2015年10月～西鉄平尾駅そばの井谷ビル3階に
オープンしました。
珍しい鳥の本、自然科学、絵本を中心に販売し
ています。

草木鳥鳥文様

梨木 香歩／文、ユカワ アツコ／絵、長島 有里枝／写真
福音館書店 (2021)

まるで鳥の声が聴こえてきそうなこの本。梨木香歩さんが隨筆を書き、ユカワアツコさんが鳥の絵を描き、長島有里枝さんが写真を撮った贅沢な一冊です。

家のそばで見かけたコゲラ、旅先でみつけたオオルリ、野鳥たちへの梨木さんの優しい眼差しや鳥愛溢れる独特な言い回しに読んでいて思わず笑みがこぼれます。

ユカワアツコさんの絵がまた素晴らしい。古いタンスの引き出しに描かれた鳥が静かに佇む姿はまるで生きているかのようです。どんな場所にもスッと馴染むのはユカワさんの絵だからなのか、長島さんのカメラの腕なのか。

鳥のいる風景と数々のエピソード。鳥好きとしてぜひたくさんの方に手にとってもらいたい一冊です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

福岡県立図書館公式 SNS (X・インスタ)

#ふっきょんの本屋めぐり を投稿しています

マスコットキャラクター ふっきょん が、ふくおかの書店を訪問
その魅力をお伝えします!!



X

Instagram

福岡県立図書館 @fukuoka_preflib · 2024年12月18日
ほーほけきょ、ふっきょんです

福岡市中央区にある「書肆 吾輩堂」さんに来ています
ここは猫の本専門店なんだねこ

ふっきょんも、一応かよわい小鳥なので...
実は、猫は苦手なんだけど.....

楽しそうなので行ってみます（勇気を出して）！

...

さらに表示



1 7 27 2,102

福岡県立図書館 @fukuoka_preflib · 2024年12月18日
返信先: @fukuoka_preflibさん

お客様が連れてごられてた猫さん
「はんぺん丸くん」

ふ、ふ...ふっきょんと申します、よろしく～
(繋張)

セーターとスカーフがとっても似合うおしゃれな猫さんです

はんぺん丸くん
仲良くしてくれて、ありがとね～♥...

さらに表示



1 4 131

作本書店

【住所】
〒800-0361
苅田町神田町1丁目7-9

【電話】
093-436-1246

【営業時間】
平日10:00～18:00
土10:00～15:00

【定休日】
日曜日・祝祭日



大正10年6月創業で、100年以上の歴史があります。

先代たちは年中無休、夜も21時まで営業していましたが、現在は「祝祭日・日曜日は休み、18時で閉店」という形に変えて、ゆるく営業を続けています。

最新刊を取り揃えているわけではありませんが、店頭にない本は取り寄せや近隣には配達のサービスも承っています。お気軽にお声掛けください。

店内が居心地のいい空間になるようにスタッフの好みの雑貨を飾っています。本と一緒にご覧ください。

ふくおかの書店 作本書店 のおすすめ本

あの夏のクリフ同盟 THE JOHAN CRUIJFF CLUB IN THAT SUMMER

増山 実／著
幻冬舎 (2024)

約50年前の福岡県苅田町に住むサッカー好きな中学生4人組のハラハラドキドキの自転車旅。

憧れの大スター、サッカーオランダ代表ヨハン・クリフ。楽しみにしていた日本初、1974年サッカーワールドカップの中継が九州では放送されないとわかり落ち込む4人。

それならば放送される広島まで自転車で行こう！

スマホもインターネットも何もない時代。それでも4人は、テレビ、ラジオ、雑誌の情報、知恵や悪知恵、うわさ話もかきあつめて一途に広島へ向かう。親にも嘘をついて。

さて4人はサッカー中継をみることができたのでしょうか。

負け戦でござる。

北九州豊前国敗者列伝 小野 刚史／著
花乱社 (2022)

門司から宇佐までは旧豊前国だった。豊前で生まれた者、死んだ者、豊前を通過し何かしらかかわりのあった者。十二人の十二の物語を紹介したこの本。教科書に出てくるような有名人はいないが、十二人はそれぞれ豊前の地で希望や志をもって生き抜いた。

が、失敗したり、負けたり、殺されたり。

今の社会でいうイジメにあって自害したり、友人と思っていた同僚が出世したら裏切られて地方へ飛ばされたり。

「十二人のスーパースターの大活躍」でないところがこの本の面白さ。

頑張っても頑張っても大きな花が必ず咲くわけではない。それでも前を向いて行こう。みんなそうだったんだ…。

小さな勇気をもらえる本。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用

福岡県立図書館
所蔵 貸出用

書肆 吾輩堂（しょし わがはいどう）

【住所】
〒810-0044
福岡市中央区六本松1-3-13

【電話】
092-791-1880

【営業時間】
11:00～18:00

【定休日】
月・木曜日



日本初の猫本専門書店です。1階は書籍、2階は雑貨および展示スペースになっており、時々展覧会を開催しています。

遠藤 薫／著
勁草書房 (2023)

<猫>の社会学 猫から見る日本の近世～現代

猫という存在は、なぜこれほどまでに人びとの関心をひくのだろう？招き猫、化け猫、猫島、猫聖地…近世から現代に至るまで、〈猫〉は人間社会の外部からその営みを相対化する媒介でした。本書は江戸期から現代までの〈猫イメージ〉を紐解きつつ、日本社会の変動と猫たちの歴史との交差を読み解いています。

様々なフィールドにおける猫の資料や図版を揃えて執筆されており、日本の猫にまつわる歴史・文化・伝承はこの1冊で著されているのではないかと思います。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

ここにいるよ Je suis là

シズカ／作・絵
月とコンパス (2023)

この世を去った愛猫が、悲しみにくれるボクに寄り添い語りかける——「ここにいるよ」。

愛しい姿、声、しぐさ、ぬくもり、匂い、よみがえる幸せな日の記憶。大切な存在を失った悲しみを抱きしめ、涙を越えた愛と絆に気づかてくれる感動の絵本。

目には見えないけど、常にひとに寄り添う猫の気配を薄紙で表現するという素敵な仕掛けが施されています。切なくて、でも猫と一緒にいた時間と空気に満たされるような幸せを感じる内容です。

小八 出口かずみ画集 Kohachi

出口 かずみ／著
ON READING, 果林社(発売) (2023)

作家の愛猫「小八」が作家の脳内で七変化を繰り広げる画集。タイトルを見て「なるほど」と納得したり、爆笑したり。猫好きなら愛猫がこんなふうになったら…と想像したことがあるのではないでしょうか。小八への作者の痛いくらいの愛情をひしひしと感じる一冊です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

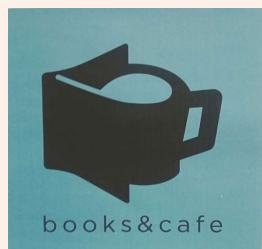
福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

【住所】
〒836-0045
大牟田市久保田町1-3-15

【電話】
0944-85-8321

【営業時間】
平日7:00~19:00
／土日祝11:30~17:00

【定休日】
不定休(月末に翌月の休日を告知)



なかなか本を手にとることのない人が、手にとってみたくなる本を揃えています。
本に興味がなくとも、立ち寄っていただけるように様々なイベントを行っています。

私が私らしく死ぬために 自分のお葬式ハンドブック

野口 理恵／編・著・写真・装幀
rn press (2024)

まさしく、いつか迎えるであろう現実に起こることの1つ。

最新の遺体処理から安楽死まで、世界の事例から日本の現状など、知らないよりは今のうちに知っておきたいことがずらり。

死ぬ直前のことから、死んだあとすぐのこと、私らしく死んでいった人たち、明日も前向きに生きるためにと章は続く。

文豪たちの書く「死」で想像を増し、忘れられるは怖いですかとたたみかける。

今日を楽しく、生きるために知っていて損はない。あなたの大事な ペットの葬儀のことも記載されています。

複業ZINE

gasi editorial／編
gasi editorial, タバックス(発売) (2025)

『副業』ではなく『復業』。とにかく、今の「働く」を見事に映し出している本だと思います。

出版社解説にあるように、終身雇用は崩壊、非正規職が増大し、年金は当てにならず、いまや「死ぬまで働く」が当たり前。

先行き不安な社会情勢が続く中、本業のかたわらにする副業ではなく、いろんな仕事を並行して行う「復業」を選ぶ人が増えている。15人の復業から浮かび上がってくる、仕事の現在、社会の姿。

実際、私も本屋だけではなく、雑貨も売り、cafeも併設して朝からモーニングを提供しています。

まさに『復業』。それはそれで、楽しい。



おだんごバス

ばば まほ／さく・え
ひかりのくに (2025)

地元大牟田出身で在住の馬場さん、念願の絵本作家デビュー作品。

タイトルの通り、おだんごがまず登場し、いろんなお菓子がそこかしこに散りばめられたページをめくってお話しは進む。

ちょっと驚くシーンもあるけれど、可愛い絵に癒される。

が、1番気になったのはやはり、散りばめられたいろんなお菓子。それを、皆で当てっこしながら読み進めてほしい。

表紙に登場するあのお饅頭こそ、大牟田人なら当てなくちゃ。

54歳での絵本作家デビュー。好きなこと諦めないって素晴らしいです。



テントセンブックス

【住所】
〒813-0013
福岡市東区香椎駅前1-4-3

【電話】
092-518-4873

【営業時間】
月水木金11:00-20:00
／土日11:00-19:00
／火19:00-22:00

【定休日】
不定休(SNS、店頭にてご案内)



テントセンブックス
tentosen BOOKS

松本清張の「点と線」の舞台、香椎にある本屋です。

香椎・福岡・九州に縁のある本からはじまり、点と点が線でつながり、世界が広がっていく、そんな場所になることができればと思います。

松本 清張／著
新潮社 (2003)

香椎も舞台となっている松本清張の代表作。香椎は遺体の発見場所なのですが、今は見ることができない香椎の景観が美しい文章で描かれています。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	×

田沼時代

辻 善之助／著
岩波書店 (1980)

“時勢の移り変わり”というものが、そんなに、明らかに掌を反すように、一、二政治家の施設方策でかわるものであるかどうか、という疑問”を持った著書が田沼意次の腐敗時代というレッテルをはがし、この時期に民権が発達し因習が否定され開国思想が培われたと指摘していく。歴史をいろいろな視点から見ていく面白さと重要性に気づかされる一冊です。

たった一人のオリンピック

山際 淳司／著
KADOKAWA (2020)

ある日突然オリンピックに出ようと思いついてしまった大学生のノンフィクション作品。「なんとなく沈んだ気分が変わるんじゃないかな。ダメになっていく自分を救えるんじゃないかな」と自分の時間を一度、せきとめ、遠大なビジョンに向かって非日常的な時間を生きる姿を追体験できる快作です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

ナツメ書店

【住所】
〒811-3101
古賀市天神1-9-8

【電話】
090-6730-4539

【営業時間】
12:00-17:00

【定休日】
月・火・祝

ナツメ書店

福岡県福岡市東区西戸崎と、福岡県古賀市天神にある本屋です。自家焙煎コーヒー豆店のSleep Coffee and Roasterと併設しています。

文学やアートなど、新しい世界を知るきっかけとなるような一冊、ずっと大切にしたい一冊と出会える場所を目指しています。

小さな店ですが、ゆっくりお選びいただけました幸いです。

ふくおかの書店 ナツメ書店 のおすすめ本

歩きながらはじまること

西尾勝彦詩集 西尾 勝彦／著
七月堂 (2018)

奈良の里山で暮らす詩人・西尾勝彦さんの過去の5つの詩集をまとめた一冊。

『朝のはじまり』、『フタを開ける』、『言の森』、『耳の人』に加え、私家版『耳の人のつづき』を収録しています。

余白を含んだ何気ない文字の連なりから、詩人が目にした風のそよぎや光のきらめきが浮かんでくるようです。

焼きたてのパンをイメージした装丁もやさしげです。

詩の中出てくる架空のパン屋さん「カンパネルラ ベーカリー」のショップカードを模したしおりが入っています。

福岡県立図書館

所蔵 貸出用

○ ○

ふくおかの書店 ナツメ書店 のおすすめ本

ともだちは海のにおい

工藤直子／作、長新太／絵
理論社 (2004)

お茶がすきないるかと、ビールがすきなくじらの友情を、詩と掌編で綴るオムニバス。

詩人・工藤直子さんの無駄のない真っ直ぐな文章に、ナンセンス絵本の神様・長新太さんのシンプルな線画が寄り添う、読み聞かせにも、ひとりで読む大人にも子どもにもおすすめの一冊です。

傍にいるひとを大切にすること。

じっくりと自分の頭で考えること。

当たり前に思える日々の尊さや、生きるということのきらめきが、いるかとくじらの日常をとおして、ひたひたと心に打ち寄せてきます。

気持ちが凧ぐのようなやさしさに満ちた、手元に置いて何度でも読み返したい物語です。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用
○ ○

ふくおかの書店 ナツメ書店 のおすすめ本

文鳥・夢十夜・永日小品

夏目漱石／[著]
KADOKAWA (1970)

「こんな夢を見た。」ではじまる、夢の中の不思議なできごとを幻想的に描く「夢十夜」。

教え子の小説家・鈴木三重吉に鳥を飼うことを勧められ、文鳥を迎えて過ごす日々と心情の移ろいを細やかに描いた「文鳥」。

留学中のロンドンから、正岡子規に宛てて書かれたという「倫敦消息」ほか「京に着ける夕」「永日小品」「自転車日記」を収録しています。

夢と現実の境界がどこまでも曖昧になった作品世界。

エゴイズムとの葛藤や、人間存在の不安など、言葉にならない事柄が言葉となってあらわれた、日本語の圧倒的な奥行きや美しさを感じる作品群です。

カバーには手拭いブランド「かまわぬ」の図案が採用されています。

福岡県立図書館

所蔵 貸出用

× ×

ニワノホンヤ

【住所】
〒833-0003
筑後市羽犬塚116-12

【電話】
090-5749-7041

【営業時間】
木～月 12:30～17:00
／水9:30～13:00
(変更の場合あり)

【定休日】
毎週火曜 (臨時休業あり)



筑後市羽犬塚に2025年4月25日にオープンした小さな絵本屋さんです。

保育士・司書の資格、経験のある店主がセレクトする絵本が本棚に並んでいます。

誰かに贈りたくなるような、大切な人の1冊になるような本に出会ってほしいなと思っています。

お店の雰囲気も一緒に楽しんでいただきたいです。

また系列店である『きょうのことわり』のお弁当やおむすびを庭を眺めながらテラスで召し上がっていただくことも可能です(要予約)

試行錯誤しながらですので、定休日や営業時間が変動するかもしれません。

最新情報はInstagramやGoogle検索でご確認ください。

ふくおかの書店 ニワノホンヤ のおすすめ本

たこたこじいさん おどればみんなニッコニコ!

やよい ひでひと/作
ボブラン社 (2025)

たこたこじいさんたこじいさん♪と自然に節がついて、体が勝手に踊りだす楽しい絵本です。

まずタイトルが面白そう。ページを開くとたこじいさんが踊ってる！

大人数の読み聞かせにもぴったりですし、親子で一緒に体を動かすのもおススメです。

たこじいさんのダンスに赤ちゃんも大喜びになること間違ひなしです！

きょうはマラカスのひ

樋勝 朋巳/文・絵
福音館書店 (2013)

登場人物はクネクネさん、パーマさん、フワフワさん。3人のやりとりがほほえましく、それぞれの個性がかわいらしくていつのまにか物語の世界に引き込まれていく感じです。

友達や大切な人のために練習を頑張ったり、朝からわくわくしながら準備に一所懸命な場面が好きです。

マラカスのチューニングをするシーンや、マラカスの発表をすごく頑張ったのに失敗してしまい、涙が止まらないシーンなどもとても印象的です。

失敗は誰にでもあることで共感もできるし、そのあと仲間がなぐさめてくれる場面も心温かくなります。

子どもから大人まで幅広く楽しむことのできる絵本だと思います。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○
○	○

ふくおかの書店 ニワノホンヤ のおすすめ本

どたばたへなちょこ探偵団 ねらわれた宝石ピッグアイ

藤本 ともひこ/作
文研出版 (2022)

シリーズの第4巻として出版された絵童話(全2話)です。

2話目の「トイレでマンガはよまないで」は童話界初の試み！定点観測童話になっています。

客席から舞台を見ているかのように同じ部屋のシーンが20場面以上続きます。

なんでも藤本さんがアガサ・クリスティの戯曲「ねずみとり」からアイデアを得たとか。

間違い探しの感覚で推理を楽しめるので、本を読むのが楽しみになるはずです！

ぜひ手に取ってみてください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×
×	×

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○
○	○

羊の本屋

【住所】
北九州市小倉南区

【電話】なし

【営業時間】
毎週水曜日14:00~16:00
ご来店の際はInstagramでご確認ください

【定休日】
水曜日以外



絵本と児童書の新刊を扱う小さな本屋です。
季刊『子どもの本』を参考に、店主が一冊ずつ選んだ
絵本や物語をそろえています。

6畳ほどの空間に、3歳から中学生くらいまでの本が並び、大人の方にもおすすめしたい本もございます。

絵本選びに迷ったときは、どうぞご相談ください。
店主が読み聞かせを交えながら、おすすめの本をご紹介いたします。

ご来店の際は、事前にご予約をお願いいたします。

ふくおかの書店 羊の本屋 のおすすめ本

ふわふわくんとアルフレッド

ドロシー・マリノ／文・絵、石井 桃子／訳
岩波書店 (1977)

お気に入りがお気に入りでなくなったら…
「ふわふわくんとアルフレッド」

新しい物に夢中になりやすい子どもたち。わが子のそんな姿を見て、「もう少し物を大事にしてくれたらな」と思うことはありませんか?

くまのぬいぐるみ「ふわふわくん」は、アルフレッドが小さい頃からいつも一緒に大親友でした。

しかし、新しいとらのおもちゃが来てからというもの、ふわふわくんは雑に扱われるようになります。

「どうして ぼくも なかまにいってくれないの?」と言って、ふわふわくんは、ある行動に出ます。

これは、単なる「おもちゃの話」ではありません。「自分も友だちにこんな扱いを受けたら嫌だな」と、気持ちに気づかされます。

友だちとの関係を意識し始める5才ぐらいからおすすめの一冊です。

あくたれラルフ

ジャック・ガントス／さく、ニコール・ルーベル／え、いしい ももこ／やく
福音館書店 (1982)

あくたれと、いたずらとでは、レベルが違います!
「あくたれラルフ」

表紙絵の通り、鬼のような面がまえをした猫のラルフは、単なるわんぱくではありません。やることなすこと、悪いことの度を越した「あくたれ」です。

そんなラルフでも、家族にサーカスへ連れて行ってもらえたのに、そこでも大暴れ!怒った家族にその場に置き去りにされてしまいます…。

子どもにとどいたずらは遊びの延長で学びかもしれません、親には「なんでこんなことを!」と理解できないこともありますよね。

きっと子どもたちは、ラルフの大胆な行動に共感し、さらに後半の、反省してしおしなくなったラルフの姿にも深く共感するでしょう。あるいは、人ごとのように笑うかもしれません。

飼い主のセイラがラルフを見つけたときの、
「まあ ラルフ、あたし今でもあんたがだいすきなのよ」というこの言葉。

お母さんを困らせてばかりいるすべての子どもたちが、心から聞きたがっている「無条件の愛の言葉」です。

絵はとっても派手で、隅々までごちゃごちゃと描きこまれていて、最初は驚くかもしれません。しかし、物語のドタバタ劇と、ラルフの強烈なキャラクターにぴったりの絵だと感じられるはずです。

5才くらいからおすすめの絵本です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

ふくおかの書店 羊の本屋 のおすすめ本

目で見ることばで話をさせて

アン・クレア・レゾット／作、横山 和江／訳
岩波書店 (2022)

手話があれば、聞こえる人と、聞こえない人の垣根は無くなる
「目で見ることばで話をさせて」

時は1805年。主人公のメアリーは生まれつき耳が聞こえません。父親も同じく聞こえませんが、彼女が暮らすマーサズ・ヴィニヤード島では、住民の4人に1人が耳が聞こえないため、ほとんどの住人が手話を使います。そのため、メアリーは日常生活に不自由を感じたことがありませんでした。

そんなある日、島に聞こえる「科学者」がやってきます。

彼は、手話に興味を示さず、聞こえない人たちに対する偏見をあらわにします。科学者のこの態度に、メアリーは激しいいら立ちを感じます。

この物語は、過去の物語として片付けられない、今なお根強く残る「偏見」について深く考えさせます。

床から伝わる振動で人の動きを感じることや、手話をしていない(見えない)と何を言っているか分からず不安になるというメアリーの心情が、非常に細かく描かれている点にも注目です。

多様性を認め合う社会について考えるきっかけとなる一冊。

中学生からおすすめの児童書です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

ひまわりこども書店

【住所】
〒824-0192
京都郡みやこ町豊津326-1

【電話】
0930-33-8080

【営業時間】
午前10時～午後6時

【定休日】
毎週火曜日 毎月第4日曜日



1970年代後半、当初は行橋市でお店を始めました。子どもに本を届けるために、自宅での「文庫」からスタート。思いがけず多くの本が子どもたちの手に渡ったことから、その後一念発起し「本屋」を開きました。

1996年に行橋市から現在のみやこ町に移転。地域性を生かし妊婦や授乳中のお母さんに安全な食べ物が提供できる食事空間も併設しました。

行橋以来のお客様のお陰で次世代へと繋げていただいております。

長年の経験と豊富な知識をもとに、子どもの本を厳選してお届けする定期便「ひまわりブッククラブ」は、40年以上の実績があります。

もりのかくれんぼう

末吉 晓子／作、林 明子／絵
偕成社 (1979)

47年も前の作品です。

山を削り、田畠をうずめ、森を切り払い、宅地、団地が造成されました。

そんな団地の側の公園で遊んだ後での帰り道、お兄ちゃんに遅れて近道をしようとしてケイコが入り込んだ見たこともない森の中。

ちかみち ほそみち もりのみち こわいかな
こわくない だあれもいない もりのみち こわい
かな こわくない

と、自分を励ますように歌いながら森を抜けようとしたその時の思いがけないかくれんぼ遊び。巧みなかくし絵の中に「森のかくれんぼう」を始め絵の中に見出す動物たち。絵さがしの楽しさもさることながらファンタジーの傑作絵本です。

集合住宅の立ち並ぶケイコの住む地域がかつては森であったであろうことを小さい読者は十分に理解できます。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ／さく、まつおか きょうこ／やく
福音館書店 (1994)

絵本を買いにお孫さん連れのお客様が「おばあちゃんのうちの本は悲しいお話ばかりって孫が言うので、本人を連れてきました」と言いますのでお孫さんに「どんな本が悲しかった?」と尋ねると「『モチモチの木』とか『花さき山』とか、。。。」と言うのです。

小学校1年生にとってはおばあちゃん好みの切り絵の美しい民話風の絵本は悲しいと受け止めるのかと思い知られました。そこで私のおすすめ「きつねのホイティ」を詠んであげましたところ、声を上げて笑うでした。

スリランカの作品で、キツネが人間の格好をして人を騙すおはなしですが変身の方法が日本と違って化け方は簡単。人間の衣装をまとうだけ。お話はスリランカの小さな村に住む3人の元気のいいおかみさんの所に食いしん坊の狐がやって来て、外に干してある洗濯物に身を包み旅人の振りをしてそれぞれの家でごちそうにあずかるのです。

相手が狐だと知りながら御馳走でもてなす3人のおかみさん。狐はと言うと、騙された3人をバカ呼ばわりをし、それを知った彼女たち。その仕返しはと言えば何とかつて身にまとった自分の花嫁衣裳を狐に着せて存分にからかうのです。

美しく描かれたスリランカの昔の(?)生活風景と松岡享子さんの翻訳の素晴らしい日本語のありようを考えさせられました。

父は空 母は大地 インディアンからの伝言

察 美千子／編・訳、篠崎 正喜／画
ロクリン社 (2016)

1995年にこの本は出版され、同様の出版物もその頃は何種かありました。

当時北九州地域の高校の図書委員の生徒さんの集まりに、講師として招かれた私は大勢の高校生を前にこの本の朗読(読み聞かせ?)をしたのです。

30年近くも前のことです。今と違って絵本はまだまだ発展途上にあり、高校生に絵本の紹介と言うのも少々ためらいがありました。が何しろ相手は図書委員さん達。熱心に聞いてくださいり、中には涙を拭う人もありました。

以後私の店ではこの本は欠かさず常備しておりましたが、いつの頃でしたか出版元の都合で長い間入手不能でしたが今再び手に取ることが出来ました。

これはヨーロッパから人々が新大陸アメリカに渡り先住民の暮らす大地を「開拓」し各國の植民地とし、先住民に対して絶滅作戦を行いました。激しい戦いの末、これ以上犠牲者を出さないため先住民の首長シートルはやむなくアメリカ合衆国の申し出に合意しました。その時、シートル首長からアメリカ大統領への伝言がこの「父は空母は大地」なので

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

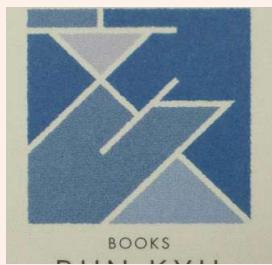
文久ブックストア 高宮駅前店

【住所】
福岡市南区高宮5-1-15107

【電話】
092-791-8391

【営業時間】
平日10-22
土日祝10-21 目安です

【定休日】
不定休（基本正月のみ定休）



高宮の小さな個人書店です。
続けるまで頑張るつもりなので応援よろしくお願ひします。

文久 書店主より

P.S.
SNS(X)で発売日案内や各種コメント投稿をはじめました
拙いですが、見てくれたうれしいです

覚悟の磨き方 超訳吉田松陰、時代のすべての異端児たちへ

池田 貴将／編訳
サンクチュアリ出版（2013）

新たなグローバリズムの波が日本を襲うなか
みんなのこころに真を秘めてほしくその一助
となる本として
15歳の誕生日や成人式、社会人として岐路
に立つお子さんやお孫さんに贈ってもらいたい
一冊
きっとこの本は力強い翼となって羽ばたく力
を与えてくれると信じている。



星の王子さま Le Petit Prince

サン=テグジュベリ／原作、スティーブン・チョイ／絵・著、八重樫 慶／訳
オーアズミ・アミュージオ、主婦と生活社(発売)（2024）

有名な星の王子さまの絵本
大人の贅沢な時間におすすめです
ゆっくりと…こころにやすらぎを持たせてお
読みください
好きな飲み物と好きなおつまみ（甘味）と一緒に
お楽しみください



モモ 絵本版

ミヒヤエル・エンデ／文、シモーナ・チェッカレッリ／絵、松永 美穂／訳
光文社（2024）

名作モモの絵本です。が！
お話しのメインである時間泥棒たちとの戦い
～ではなく、その前にあった平和だった野外劇
場でのモモとモモにお話を聞いてもらいたい人
たちとの交流にスポットを当てた秀作
大人が読んで豊かになったココロで子供に読
み聞かせてあげて下さい。

※思春期の子供にもぜひ読み聞かせてあげて欲
しい



文喫 福岡天神

【住所】
〒810-8680
福岡市中央区天神2-5-35
岩田屋本店本館7階

【電話】
092-717-5180

【営業時間】
10:00~20:00 (L.O. 19:30)

【定休日】不定休

文喫
BUNKITSU

入場料がある「本と出会うための本屋」文喫です。あの本のことが気になりあの本と偶然に出会いあの本と恋に落ちあの本が忘れることが出来ない価値になる。そんな本と恋するような一続きの文脈を文喫では提供していきます。

そして誰もゆとらなくなつた

朝井 リョウ/著
文藝春秋 (2022)

「桐島、部活やめるってよ」「何者」「正欲」など数々のヒット作品を生み出した作家、朝井リョウさん。社会問題的なテーマを扱うことの多い堅めの作家さんだと思っていたので、エッセイを読み始めた時は文章のゆるさに驚きました。

筆者は「金銭や実利が絡まない場で本気になることが好き」らしく、どう見てもやりすぎな余興を計画し実行したり、ディズニーランドのステージに(踊りで)立ったり、サバイバルオーディションに熱狂するうちにアイドルが経験している物事に興味を持ちPRODUCE101の課題曲をレッスンしてくれるダンスレッスンに己の身一つで飛び込んでみたり…

まさにそれは、見る人が見れば、無駄。しかしども楽しそう。コスパやタイパという言葉から対極にある朝井リョウさんの暮らし方のスタンスに感心してばかりでした。

福岡県立図書館	所蔵	貸出用
○	○	○

饗宴

プラトン/著、中澤 務/訳
光文社 (2013)

「それではパイドロス、幸運を祈るよ。まずきみから、エロスの賛美をはじめてほしい」

ソクラテス、アリストテレス、そしてプラトン。名前は聞いたことがある…でも、読んだことがある人はそう多くないでしょう。哲学書は難しそうだし、面白くなさそう。そんな印象をひっくり返す、小説のような一冊です。

物語の舞台は古代ギリシャ。悲劇詩人のアガトンが宴を催します。参加者は哲学者ソクラテス、政治家アルキビアデスなどの賢人たち。前日の宴で疲れ切っていた皆は、酒を飲む代わりに「1人ずつエロス神を賛美する」話を披露していきます。

エロス神は、ギリシャ神話の愛の神です。よって神への賛美から始まった宴は、愛の恩恵や、人間の恋愛についてまで広がります。特に面白いのが、喜劇詩人アリストファネスの話。異性を求める心や、同性に惹かれる理由について物語ります。

物語を楽しむうち、いつのまにかプラトンの思想に触れる。1番やさしい哲学書です。

古いぬいぐるみのはなし

田村 ふみ湖/著
産業編集センター (2022)

新しい生活が始まるときや、年越しの準備をするとき。片付けは、いつも私たちのそばにあります。そんなとき、ふと迷うことはありませんか?「このぬいぐるみ、どうしようかな」感謝を込めて「さようなら」「またね」を選ぶ人。特別な思い出を辿りながら、「もう少し一緒にいたい」と思う人。どちらも、きっと優しい選択だと思います。

そんな、ぬいぐるみと大切な時間を過ごしたことのある、優しいあなたに届けたい一冊が、「古いぬいぐるみのはなし」です。

この本には、ぬいぐるみと人とのさまざまなエピソードが綴られています。出身地も持ち主も違うのに、写るぬいぐるみたちはみんな、やわらかな表情をしています。

新しいものが次々と生まれていく世の中で、ずっと昔から、変わらず誰かを支え続けている存在がいるということ。この本を手に取ったあなたが、旧友との懐かしい日々を胸に浮かべる、そんなきっかけになりますように。

福岡県立図書館	所蔵	貸出用
○	○	○

福岡県立図書館	所蔵	貸出用
○	○	○

本のこんどう（近藤書店）

【住所】
〒826-0022 田川市本町4-18

【電話】
0947-44-6600

【営業時間】
10:00~19:00
(日曜日は13:30~18:30)

【定休日】
正月三ヶ日のみ



2019年に田川後藤寺駅前通りに移転しました。
小さいながらも、文具、パン、おにぎり、コーヒー、アイス、お菓子を置いています。

田川の古代史や邪馬台国関連の本も置いています。

破獄

吉村 昭/著
岩波書店 (1983)

罪人を護送中、汽車の中で手錠をされていたのを、いつの間にか外すところから始まって、監獄に収監され獄中から驚異的な方法で毎回脱獄を繰返すという実話の本です。

北の地北海道で繰り広げられた追う側追われる側の駆け引き。

最後まで一気に読める一冊です。



本屋くるり

【住所】
〒811-1231
那珂川市不入道264-4

【電話】
なし

【営業時間】
Instagramをご確認ください

【定休日】
不定休
(月末にInstagramにて翌月の営業日を告知)



福岡市内から約30分、那珂川市南畠地域にある約6畳の古民家の一角にある本屋です。小さな店ですが、子どもからお年寄りまでみんなが楽しむことのできる本屋を目指し、絵本から小説・実用書まで、新書・古本ともに扱っています。自然を近くに感じながらぜひひゅっくり本選びをお楽しみください。

古くてあたらしい仕事

島田 潤一郎/著
新潮社 (2019)

ひとり出版社・夏葉社をはじめて10周年を迎えた島田潤一郎さんによるエッセイ。仕事への想い、本を作る過程やまつわるエピソードまで、誠実な人柄が伝わってきます。出版業界に興味がある人はもちろん、本が好きな人、仕事のあり方に悩んでいる人などにもおすすめです。



ちいさな言葉

俵 万智/著
岩波書店 (2010)

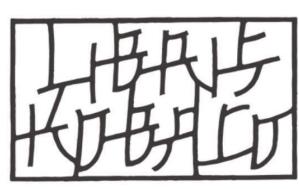
「サラダ記念日」でお馴染みの俵万智さん。息子さんが幼かった頃、言葉を獲得していく様子を書き留めた一冊。ありありと様子が目に浮かぶ表現力はさすがです。微笑ましい内容にほっこり。子育ての渦中にいる人や子育てが終わって久しい人に特におすすめです。

【住所】
〒810-0074
福岡市中央区大手門3-2-26
田中ビル401

【電話】
なし

【営業時間】
13:00-18:00

【定休日】
火曜・水曜
(月曜が休みの日の場合もあり)



LIBRIS KOBACOは、「本と写真」をコンセプトにしたブックストア&フォトギャラリーです。

同時にオープンするのではなく、ブックストアとフォトギャラリーを互い違いにオープンするスタイルです。ブックストアのときには 店主自らセレクトした写真集を中心としてオープンし、写真に関連した本にまつわるイベントも行います。

フォトギャラリーのときには写真を存分に見ていただきたいため、展示のみのスタイルとしてオープンします。

写真家の方に在廊していただき、トークイベントなども開催いたします。

のんびりとオープンしておりますので、 営業日や展示内容を確認の上、ご来店いただきますと幸いです。

針の落ちる音 Hear a pin drop

林 詩硯／[撮影]
赤々舎 (2024)

台湾出身の写真家・林詩硯の写真集。

『読み始める最初に持った写真集の重さの感覚』と『読み終わった後の重さの感覚』が全く違うことに自分自身で気付きとても驚く。

読み終えた後、写真集『針の落ちる音』は、私の手中でずしりと重くなっていた…。

他者の痛みを感じることは難しい。

だが『針の落ちる音』には、いつも当たり前に見ている日常の風景や些細な出来事を思い出ことのできる写真が合間合間に差し入ることで、彼女達の痛み、そして他者の痛みをより感じじうことができる写真集のような気がしている。

社会生活の中で数の理論は確実に存在をする。

多数をしめているというだけなのに、少数を排除したり差別したりする。

ただそれはあくまで数が多いというだけで優位にたっているだけだというのにだ。

わたしは問いかけをしながら写真を見るのが好きだ。問うということは気づきをくれると思っている。齋藤陽道の写真を問い合わせをしながら写真集を開き、そして写真を読んで欲しい。

ただ『少数であるということ』が在るという事実。その問い合わせに対するあなたの気づきを見つけて欲しいと願っている。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

字

富澤大輔
南方書局 (2022)

富澤大輔がモノクロフィルムで撮り下ろした数千枚の写真の中から、デザイナーの浅田農と共に1年をかけて作り上げた写真集。

「字」という変わったタイトルからは想像もつかないのですが、日本各地のどこにでもあってどこでもない風景を、富澤ならではの目線で見ることができます。目の前の風景や事柄ばかりに目が行きがちな写真表現を、写真とはこうあるべきという枠組みを越えた作家独自の視点で再解釈されていて、読み解くために何度も読み返したくなる1冊です。このとらえどころのない感覚の答えを、今後の作品で見つけることができたらと楽しみにしています。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

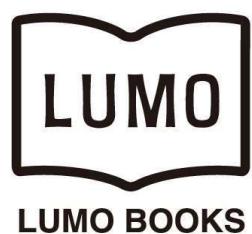
LUMO BOOKS

【住所】
〒810-0031
福岡市中央区谷2-2-13
馬屋谷テラス101

【電話】
なし

【営業時間】
金土日の12:00-18:00

【定休日】
月～木曜日



アート・デザイン・自然科学をメインテーマに、様々なジャンルの古本、鉱物・各種標本、古物雑貨を取り扱うお店です。

福岡市中央区とは思えない自然豊かな高台にあり、広い庭ではビオトープやニホンミツバチの養蜂に挑戦中です。

グラフィックデザイナーとイラストレーターの二人で運営しています。

絶滅してない！ ぼくがまぼろしの動物を探す理由

宗像 充／著
旬報社 (2022)

ニホンオオカミ、ニホンカワウソ、九州のツキノワグマ…

絶滅したとされている動物たちですが、今でも時折それらしき動物が目撲されています。

絶滅とは何か？ 探してないだけではないか？

行政や学者の姿勢に疑問を呈しつつ、全国の目撲現場を訪ね歩いたノンフィクション。

読んだ後には本気で絶滅動物を探しに行きたくなるロマン溢れる一冊です。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用



漂流

吉村 昭／著
新潮社 (1980)

江戸時代、米の運搬中に遭難し、絶海の孤島・鳥島で13年間を生き抜き帰還した「無人島長平」と呼ばれた実在の人物をモデルにした小説。

臨場感あふれる描写で、ドキドキハラハラ。一気に読んでしまいます。

三国志を歩く中国を知る

坂本 信博／著
西日本新聞社 (2024)

三国志好きの新聞記者が、ゆかりの史跡・名勝をめぐる聖地巡礼的な面もありつつ、

緊張の走る国境地帯や、新疆ウイグル自治区などのディープなルポページもあり、とても読み応えがあります。

三国志を通して、現代中国の姿が見えてくる。

平易な文章で、わかりやすいので、三国志を知らない人も楽しめます。

福岡県立図書館
所蔵 貸出用



福岡市総合図書館



福岡市総合図書館（本館）は、多彩な機能を持つ生涯学習推進の中核施設で、今年開館30周年を迎えます。図書資料部門、文書資料部門、映像資料部門の3部門があり、本館の蔵書数は約130万冊と九州最大規模を誇ります。福岡市の博物館や動植物園などの文化施設と連携した展示や映像ホールやミニシアターで映画を見たり、郷土資料として福岡市を中心とした県内の出版物や福岡ゆかりの文学資料を閲覧したりできる、様々な知的好奇心に応える総合図書館です。

その他、福岡市内には市民センターや地域交流センターに併設して、分館が11か所あり、本館・分館の本は市内のどの図書館でも貸出・返却することができます。福岡県立図書館など返却拠点も多くあります。

ぜひ福岡市総合図書館をご利用ください。

シーサイドももち 海水浴と博覧会が開いた福岡市の未来

福岡市史編集委員会／編集
福岡市、梓書院(発売) (2022)

福岡市総合図書館は福岡市早良区にある「シーサイドももち」と呼ばれる地区に建っています。その福岡市総合図書館がおすすめする本は、『シーサイドももち—海水浴と博覧会が開いた福岡市の未来—』です。

福岡市を象徴する風景といえば、「福岡タワーとドーム、そして海がひとつのフレームに収まった風景」ではないでしょうか？その風景は「シーサイドももち」にあります。この本は、「シーサイドももち」と百道の歴史を深くたどることができる構成になっていて、レファレンスにも大活躍！司書としてはうれしい限りです。古くは元寇防塁から始まり、海水浴場から博覧会まで、幅広いテーマを取り上げています。

この本を編さんした福岡市史編さん室は、総合図書館の隣にある福岡市博物館内にあります。博物館ホームページの「福岡市博物館ブログ」では、【別冊シーサイドももち】を連載中。本には載らなかつた蔵出し記事やこぼれ話を紹介しています。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大牟田市立図書館



大牟田市立図書館は、古くなった図書館を新しく建て直すとともに、大牟田が日本のカルタの発祥の地であることを記念した三池カルタ記念館との複合施設として1991年4月に開館しました。

図書館では今、「地域の魅力を再発見」をテーマに、大牟田といえば思い浮かぶ「炭鉱」や「世界遺産」だけでなく、あまり知られていない地域の魅力も紹介しています。

例えば――

- ・昔の写真や資料をネットから見られる「デジタルアーカイブ」
- ・新しい漫画家や小説家の作品の収集・貸出
- ・国宝「大典太」を作刀した三池典太光世が大牟田に住んでいたことにちなんだ刀剣の展示や講座

特に刀剣の展示は人気があり、「三池って大牟田のことだったんだ！」という声や「図書館で刀剣イベント！？」と驚かれる方もあり、来館者にとって新しい発見の場となっています。

大牟田市立図書館は「地域の魅力を知る場所」としても楽しめる施設です。ぜひ一度、足を運んでみてください。

えげつない！寄生生物

成田 聰子／著
新潮社 (2020)

“「決して川には近づいたらいけない」
その教えを僕はこれまでずっと守ってきた。”
(p.5)

こちらの文章は、ハリガネムシに寄生されてしまうカマキリの視点で綴られた物語の冒頭部分です。泳ぐことのできないカマキリがハリガネムシに操られて入水するまでを短い物語にしてあり、まるでホラー小説を読んでいるような恐怖を味わえます。宿主側視点のストーリーを先に読むつくりとなっている為、最初は「怖い」「可哀そう」と感情移入してしまうのですが、その後に続く寄生生物の驚くべき生態の解説文を読むと、寄生生物のしたたかな生存戦略に感嘆してしまいます。

写真が無く、イラストやマンガを多用してあるため、実物を見たい方には物足りないかもしれません。そのぶん気軽に手に取りやすいのではないかでしょうか。

ハリガネムシの他にもゴキブリを奴隸化する宝石バチ、アリをゾンビにしてしまう寄生カビなど続々と登場し、そして最後に出てくる宿主はなんと！人間です。ゾクッとしませんか？

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

久留米市立中央図書館



ブリヂストンの創業者である石橋正二郎氏より久留米市に寄贈された石橋文化センター敷地内にある図書館です。レンガ造りの外観の4階建ての建物で、30万冊以上の図書を所蔵し、絵本や児童書、一般書、郷土資料、点字録音等、さまざまな資料を提供しています。4階には学習室があり、試験勉強の学生だけでなく、幅広い年齢の方が利用されています。

また、定期的に開催しているおはなし会や映画上映会の他、講演会や講座、季節毎の子ども向けイベント等にも取り組んでいます。

園内には、久留米市美術館やバラ園、日本庭園等もあり、展覧会や屋外コンサート、季節ごとに咲く花を楽しみながらの散策等、読書に親しむとともに、芸術と自然も満喫できる、市民の憩いの場所となっています。

久留米市立中央図書館（六ツ門館）



久留米市立図書館のなかで唯一月曜日に午後8時まで開いている図書館です。

・六ツ門図書館は、商業施設の「くるめりあ六ツ門」の5階にあります。

・六ツ門シティプラザ前バス停から2分のところにあります。

雨の日でも濡れずに車から降りて来館できます。

・くるめりあ六ツ門には地下駐車場と隣接する立体駐車場（4階の連絡通路で繋がっています。）が利用できます。

駐車場は2時間まで無料です。

・上記の2つの駐車場の駐車券を図書館カウンターに提示して頂ければ、2時間まで無料のご案内を致します。

同じフロアには、児童センターがあります。

・小さなお子さんも楽しめる施設です。

久留米市立田主丸図書館 仮出張所



田主丸図書館は、令和5年7月の大雨で浸水被害をうけ休館中です。

令和6年2月より、田主丸アリーナの一室に常設の仮出張所を開設しました。小さな仮出張所ですが、施設内の研修室をお借りし、おはなし会・上映会・古本市・読書bingo等、様々な行事を行っています。

また、令和7年9月より施設1階ロビーにブックトラック20台と閲覧席を追加し、スペースを拡張しました。

スタッフ一同、地域の方々に支えられながら「また来たくなる図書館」をめざして努力しています。

久留米市立北野図書館



久留米市立北野図書館は、久留米市北野複合施設「こすもスマイル北野」内にあり、図書館独自の資料展示だけでなく、同施設にあるトレーニングルームなどを備えた北野保健センターと連携しての関連資料展示も行っています。また、北野地区で活動中の読み聞かせボランティアによるお話しなどを実施しています。

世代を超えた地域住民の交流の場として、暮らしに役立つ図書館を目指しています。

久留米市立三潴図書館



三潴図書館は久留米市において、専用面積563m²、蔵書数95,598冊と市内6図書館の中で最小の図書館です。年齢別貸出者数において約4割が0歳から14歳までの児童であり、子供たちの利用が高くなっています。

その要因は毎週実施の「お話会」、月1回実施の「ブックストーク」、隔月実施の「赤ちゃんお話会」、「七夕お話会」

「クリスマスお話会」等のイベントが挙げられます。また、図書館の業務内容を知ってもらうために「小学生1日図書館体験」、「中学生職場体験」、「高校生インターンシップ」の受け入れ、小学校でのゲストティーチャーも行っています。さらに、三潴図書館ボランティアの「布のおくりもの」による布絵本、おもちゃ等の作成や展示を通して、本や図書館のPRに努めています。

なお、近年の活動を受け、令和7年4月に令和7年度優秀実践図書館として文部科学大臣賞を受賞しました。

蜩ノ記

葉室 麟/著
祥伝社 (2011)

久留米市ゆかりの時代小説作家葉室麟さんの直木賞受賞作品です。

豊後(大分県)の羽根藩という架空の藩の武士戸田秋谷は犯した罪により十年後に切腹を命じられていますが、その人となりは清廉潔白で誇り高く、切腹するような悪事に手を染めるとは思えない人物です。

そんな戸田秋谷の生き方に焦点を当てながら、切腹に至った罪についての謎とそれにまつわる藩主の後継争いをめぐる陰謀を追うというミステリー的一面も持っています。

主な語り手となる藩士檀野庄三郎の目を通して、切腹の日まで自分の役目に向き合い暮らす秋谷とその家族、百姓たちとの交流が描かれ、檀野自身も心境を変化させていきます。どのように死ぬかはどのように生きるかということ、正しいと思ったものを貫く生き方、搖るがない秋谷の姿に感心する一方で、自らを省み考えさせられる作品です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

飯塚市立飯塚図書館



筑豊の蔵書数を誇る「飯塚市立飯塚図書館」(イイヅカコミュニティセンター1階)は、飯塚市街地にあり、近隣には商店街やイイヅカコスモスコモン・嘉穂劇場等の文化施設もあり週末には多くの利用者で賑わいます。

市内にある大学や高校、団体等と協力し「サイエンスモールin飯塚-科学広場-」という体験型・参加型の科学イベントを開催しています。毎年2,000名近くの来場者がある人気のイベントとなっています。

また、飯塚市立図書館のマスコットキャラクターである「ばたばん」は飯塚市のいたるところでデザインとして採用され、市民に愛されるキャラクターになりました。

2026年4月にはイイヅカコミュニティセンター改修工事後の再オープンで新たに閲覧席やおはなしコーナー等がリニューアルいたします。

「あなたの知りたいがここにある」をコンセプトに皆さまが求める資料を今後も充実させてまいります。

地図と絵で見る飯塚地方誌

飯塚地方誌編纂委員会/編
元野木書店 (1975)

明治10年創業の地元の本屋さん「元野木書店」から、飯塚を愛するたくさんの方の協力の元、1975年に刊行されました。宿場町から炭鉱の町、そして商業の中心地として発展してきた飯塚の歴史が、豊富な地図と写真で視覚的に読める歴史本です。

昭和16年に開館した飯塚図書館についても掲載があります。郷土資料のため、貸出はできませんが、「地図と絵で見る飯塚地方誌 地図編」と併せて、飯塚市立飯塚図書館のおすすめ本として紹介させていただきます。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

飯塚市立ちくぼ図書館



茜色の屋根が目印のちくほ館には、約8万5千冊の赤ちゃんから大人まで楽しめる本を揃え、児童書スペースには授乳やおむつ替えもできる部屋も完備しています。毎月第1・第4土曜日、第3金曜日におはなし会を行っているほか、子ども向けイベント等も多数開催しています。一般書はあらゆるジャンルのほか地域性に付随した農業関連の図書も多いのですが、一変館内はカフェのようなおしゃれな空間が広がり、落ち着いた雰囲気の中ゆっくり読書していると、つい時間を忘れてしまうこともしばしば…。ぜひ一度ちくほ図書館へ訪れてみてはいかがでしょうか。

ながのばあちゃんの食術指南

長野 路代／著、佐藤 弘／著
西日本新聞社 (2015)

著者の長野さんは飯塚市筑穂地区出身で、R7.10月現在も食品加工グループに所属し活躍されている御年94歳の元気いっぱいの名物おばあちゃんです。

この本は、西日本新聞で2012年から9年半連載された食術指南書です。さまざまな食べ物をながのばあちゃんの知恵と工夫で美味しく変身させるといった技の数々を紹介しています。昔ながらのお漬物や郷土料理まで、懐かしさを感じるおふくろの味がこの1冊に詰まっています。ぜひ一度手に取っていただき筑穂地区のことを感じて頂ければと思います。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

飯塚市立庄内図書館



庄内図書館のキャッチフレーズは「きっかけの図書館」です。

小さな図書館ですが、日中は隣接する子育て支援センター帰りの親子さんや、大人の方が多く利用され、夕方になると近くの小中学校の子ども達の元気な声が聞こえてくる地域の方の憩いの場となっています。

読書に馴染みのない方でも図書館を利用してもらえるように、様々な特集や読書スペースを多く設け、本と出会う“きっかけ”となる企画も考えています。

今年は、子育て支援講座「キッズカット」や「理科読」（理科教室とえほんの読み聞かせ）、スペシャルおはなし会（年2回）、そのほか「図書館まつり」「子ども読書クイズ大会」「子ども読書スタンプラリー」など季節にあわせた楽しいイベントも行いました。

今後もSNS（InstagramやX）などを使ってイベント情報など、幅広い利用者に参加してもらえるように庄内図書館の魅力を発信していく予定です。

あーといつてよあー

小野寺 悅子／ぶん、堀川 理万子／え
福音館書店 (2015)

この絵本は一緒に「あー」の声を出していく参加型の絵本です。いろんな方向を向いて「あー」、口や胸をたたいて変化を付けた「あ～あ～あ～」。日常にあふれる喜怒哀楽の感情を乗せて「あー！」。同じ「あー」でもなんと違うこと…。声はからだの中から出てくる身近な音です。子どもだけでなく大人も一緒になって「声」の不思議を感じてみてください。

『あーといつてよあー』は、令和7年10月4日に開催した、当館が事務局を務める一大イベント「サイエンスモール in 飯塚 2025」の

「理科読」のプログラム中で、子どもたちに最初に読み聞かせをした絵本です。今年のテーマは「おとをつくろう！おとであそぼう！」。この絵本を読み聞かせすると、演者や参加者が一緒に声を出すことで不思議な一体感が生まれ、最後まで笑顔の絶えない楽しいイベントになりました。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

飯塚市立穂波図書館



飯塚市には5館の図書館がありますが、穂波図書館はその中で4番目の所蔵数となる図書館です。

コンパクトな図書館になりますが、一般書や児童書・雑誌・新聞の他に畳のスペースには赤ちゃん向けの絵本が充実しています。おむつ替えや授乳のできる赤ちゃんの駅、バリアフリートイレ内にはベビーチェアも設置されています。毎月第2・4土曜に実施しているおはなし会以外にも隣接する子育て支援センターと協働で、毎月1回おはなし会を実施しています。

市内の図書館全体で、春夏には「子ども読書クイズ大会」や「子ども読書スタンプラリー」などのイベントを行っている他、秋には図書館まつりとして「ほなみBOOKカーニバル」や冬には「楽しくつくろう！」という工作的イベントも行っています。

お近くをお通りの際はぜひ、お立ち寄りください。

野見山暁治 人はどこまでいけるか

野見山 暁治/[著]、のこす言葉編集部/編・構成
平凡社 (2018)

著者の野見山暁治さんは旧穂波町出身の洋画家です。

野見山さんは1920年に炭鉱業を営む家に生まれました。この本では炭鉱が盛んだった子どもの頃の様子や美校へ入学するに至るまで、戦争やパリへ渡った時のことなどについて触れられています。

一つ一つが親しみやすい文章で簡潔に書かれた伝記となっていて大変読みやすい本になっています。

野見山さんは洋画家としての活動だけでなく、様々な著書も出されていますのでぜひ手に取ってみてください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

飯塚市立穎田図書館



穎田図書館は、飯塚市の中で一番小さな図書館です。昭和3年(1928)に穎田村立図書館として穎田小学校に建設されてから、もうすぐ100年になります。

飯塚市の市街地から少し離れた緑豊かな土地にあり、周辺は里山の風景が広がっていて季節の移り変わりを感じることができます。

現在は、穎田交流センター内に移設され、朝夕には隣接する「小中一貫校穎田校」に登下校する子ども達の賑やかな声が聞こえています。放課後は、お迎えを待つ子ども達が宿題や読書をして過ごす姿も見られ、夕方のひと時を過ごす居場所となっているようです。

また、同じ建物内に「児童クラブ」が併設されているので、お迎えの保護者と一緒に立ち寄る姿も見られます。昨年度より始めた「放課後のおはなし会」は、学校に隣接している穎田図書館ならではの取り組みです。これを毎回楽しみに参加してくれている子どもさんもいて、少しづつ定着してきています。

めくって学べるしきみ図鑑シリーズ

※シリーズものの図鑑です
学研プラス (2018-)

穎田図書館がおススメする「めくって学べるしきみ図鑑シリーズ」は、あるボランティアさんの一言がきっかけとなり自館で揃え始めたシリーズ本です。それは、「子ども達のいる職場で働いているが、この本は子ども達にとても人気がある」と言うものでした。

この「めくって学べるしきみ図鑑」はたくさんのめくるしかけがあり、まるでクイズの答えを探すかのように、楽しみながらその「しきみ」を学ぶことができます。イラストはわかりやすくするために一部をデフォルメして描かれているものがあり、実際の写真を掲載しているものがあるなど、シリーズの一冊ごとに工夫が凝らされていて大人も楽しめる図鑑となっています。

子ども達にとっては、ページをめくる楽しみとしかけの小窓を開けるワクワク感、何かを発見するドキドキ感など、一冊の本に込められたたくさんの秘密を体験できる楽しい図鑑シリーズです。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

田川市立図書館



田川市立図書館では、図書や視聴覚資料の貸出の他に、併設している「デジタルラボ」としょも」で、ものづくりを体験することができます。

パソコンを使って3Dプリンタやレーザーカッターなどの最新のデジタル工作機器を操作し、誰もが気軽にものづくりやアートを楽しめる施設となっています。

施設使用料・機材使用料無料でどなたでもご利用いただけます。

<https://sites.google.com/view/toshomo>

また「筑豊・田川デジタルアーカイブ」では、近世・近代の田川の歴史をインターネットで公開しています。中でも、「新・田川紀行」は、田川の観光、歴史、文化について総合的に学ぶことができるおすすめのコンテンツです。

<https://adeac.jp/tagawa-lib/top/>

希望が死んだ夜に

天祢 涼／著
文藝春秋 (2017)

著者 天祢涼氏の「仲田シリーズ」は現在第4弾まで刊行されています。

どれも貧困、虐待、コロナ感染など時事問題に大きく切り込んだ作品が多く、

その中でも、第1弾の「希望が死んだ夜に」をオススメします。

多摩警察署生活安全課少年係の巡査部長仲田蛍が、川崎市で起きた「女子中学生殺人事件」に異例の抜擢で捜査に加わる。独特な捜査方法で事件の裏に隠された格差社会における少女たちの心の叫びと衝撃的な真実に辿り着く。

読み終えた後、思春期の子を育てる一人の親として心が苦しくなり、とても子どもを抱きしめたくなりました。

ほぼ毎週土曜日に更新される著者のSNSもオススメです。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

筑後市立図書館



筑後市立図書館はJR羽犬塚駅から徒歩7分、筑後市中央公民館（サンコア）1階にあります。

「生活（くらし）とともににある図書館」をコンセプトに、こどもから高齢者まで沢山の方に来館してもらうために毎月様々な取り組みをしています。

「図書館で認知症かふえ」では、参加者に向けての読み聞かせや認知症予防のストレッチを行っています。「ゆっくり読書タイム」は毎月、子育て中の保護者に館内で一人の時間を過ごしていただくため、保育士がお子さんをお預かりしています。毎月1回、閉館後の図書館でテーマごとに選んだ本を紹介しあう「ちっこ読書会」など、イベントを通してそれぞれ異なる世代へのアプローチを続けています。

また、R5年度より筑後市PRキャラクター、はね丸くんデザインの可愛い移動図書館車「としょま～る号」も運行！市内17件の幼稚園保育園やの12か所学童など様々な施設を回っています。

小さな図書館ですが、職員の愛とアイデアの詰まった図書館です。ぜひ一度遊びに来てください♪

Love Letter 私への手紙

くすのき しげのり／作、松本 春野／絵
瑞雲舎 (2024)

この本はH30年から開催している「図書館で認知症かふえ」内でR6年12月に紹介した絵本です。

当館の「認知症かふえ」のコンセプトとして、認知症は病気ではなく症状としてとらえ、認知症になってしまっても安心安全に暮らせる地域づくりの一助に図書館が役に立てるのではと始めました。R7年12月現在39回目を迎える根強い支持のある講座です。

「LoveLetter」は参加者皆さんにとても好評でした。おじいさんとおばあさんが、

アルバムをめくりながら過去のラブレターを思い出す素敵なお話です。

また、今年度の子どもの読書週間で開催した「あなたが選ぶ絵本大賞inちくご」において松本春野さんがイラストを担当された「バスが来ましたよ」

（文：由美村嬉々 アリス館）が大人絵本部門の候補作になり、一般投票で見事大賞を受賞し、R7年12月20日には講演会も開催しました♪

筑後市立図書館の大切な記念すべき思い入れの強い1冊です。ぜひ読んでみてください！

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

大川市立図書館



大川市は福岡県南部から佐賀県東部に広がる筑紫平野の中央に位置しております。

筑後川が市の西部を北東から南西へと流れ、母なる有明海に注いでいます。

主要な産業は、「大川家具」「建具」などの木工業で、木工所、家具店、製材所などの木工業関連の建物が集積しています。

大川市立図書館は、昭和57年（1982年）に開館しました。

主要産業である木工業の本「木工図書」の収集に力をいれています。趣味とインテリアの部屋には木工図書コーナーを設け、ソファ（大川家具）に座ってゆったり閲覧できます。

また、令和6年2月には福岡県産材を使い木目の美しい机と椅子が一般閲覧室と児童コーナーの窓際に設置され、木工の町のインテリアをより体感できるようになりました。

白仏

辻 仁成／著
文芸春秋（2000）

筑後川の最下流の有明海に接する河口の島、大川市大野島を舞台に明治から昭和を生きた著者の鉄砲屋と呼ばれた祖父をモデルに作られた物語です。

主人公の稔は、島で唯一の刀鍛冶の家に生まれ、島の外へ目を向ける兄達と違い、幼いながら日本刀の製造工程を父から教わり手伝いをしていた。戦争を機に家業は鉄砲修理へ。

軍人への憧れと失望、初恋、「死」を知る少年期。シベリア出征と結婚で「死」と「生」を感じる青年期。戦後の混乱で稔と、周辺の人々は激流に巻き込まれ「人は死んだらどこさん行くとやろ」という問い合わせがより深まる晩年期。

それぞれの時代の「死」が稔を白仏作りへと向かわせていく。

著者は、なぜ祖父は白仏を作ったのかという疑問を、事実に即しながらも物語の枝葉の部分は創作として描きあげたそうです。登場人物の方言も見事に表現されていて、当時の大川の雰囲気を感じることができます。そして今も大野島の勝樂寺には白仏が鎮座しています。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

中間市民図書館



中間市にある唯一の図書館「中間市民図書館」です！

中間市は、桜の綺麗な「垣生公園」や世界遺産「遠賀川水源地ポンプ室」があり、ショッピング施設や飲食店も多いので、季節や歴史を感じながらも生活の利便性もある暮らしやすい街です。

中間市民図書館は、暮らしに寄り添う図書館を目指し、子どもから大人まで親しみやすい本やサービスを提供しています。

また、中間市にゆかりのある作家コーナーも充実しており、「村田喜代子」「帚木蓬生」「桟比呂子」「高倉健」に関する本や新聞記事、執筆原稿などを紹介しています。

2階建てで、広々とした館内は、静かに勉強できる「学習室」や親子で読み聞かせが楽しめる「おはなしのへや」、飲食可能な「休憩コーナー」をご利用いただけます。

館内での読書、勉強などはどなたでも可能です！
みなさんぜひお越しください！

歳月

茨木 のり子／著
花神社（2007）

ブックオカで知り、購入しました。

茨木のり子さんの詩はとても好きで、本も何冊か持っていますが、この詩集は知りませんでした。

「自分の感受性くらい」や「わたしが一番きれいだったとき」など、ハッとするような強いメッセージを豊かな表現で紡いでいる印象があり、かっこいいなあと憧れています。

この「歳月」は、その印象で読むと違う作家だろうかと疑うほど、たおやかな愛の詩集です。

旦那さんを亡くしてから紡いだ詩が収められており、茨木のり子さんが亡くなつてから、甥の手によって発売されました。

亡き旦那さんへの深い愛を、純粋に、濃厚に、美しく表現しています。

健康診断の合間に読んだものですから、空腹や採血がこたえて、めまいがしてしまうほどでした。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

小郡市立図書館



・移動図書館「しらさぎ号」が市内を走っています。（市内小学校や病院へも運行）

※貸出・返却・予約の受取も可能

- ・マスコットキャラクター（公式）、らっこの「ラックン」がいます！
- ・うちどくコーナーも充実しています。
- ※家読（うちどく）は「家庭での読書」の略語で、家族で読書の習慣を共有し、本を介したコミュニケーションを目的としています
- ・10冊～15冊がセットになった「絵本パック」の30日間貸出を行っています。

・展示コーナーも充実（中央展示・児童展示・一般展示）

※定期的にテーマを変え、本の紹介を行っています。

・小郡市出身の「野田宇太郎」文学資料館が併設、展示室は無料で観覧いただけます。野田宇太郎の貴重な資料が寄贈されていて、多数の所蔵があります。

※展示室では「常設展」を年5回、「特別展」を年1回行っています

- ・イベントも行っています。詳しくはホームページをご覧ください。
- 小郡市立図書館ホームページ
www.library-ogori.jp
- 野田宇太郎文学資料館ホームページ
www.library-ogori.jp/noda/index.html



筑紫野市民図書館



1. 令和7年6月に児童室をリニューアルしました。

その主な内容は、「りんごの棚の設置」と「成長にあわせた本の配置」です。

りんごの棚は児童室の中央に設けています。

LLブック（写真や絵・ピクトグラムを使ってわかりやすく書かれた本）点字の本・大きな活字の本を、利用者の目に留まりやすい平置きの棚に置いています。

本の配置については、赤ちゃん絵本や小型絵本・絵本を一ヵ所にまとめ、成長にあわせて利用しやすい配置にしました。

絵本のそばに育児書を置き、親子で楽しめるコーナーを新たに設けました。

2. BM（移動図書館車）に昇降リフトが設置されています。

車いすで利用される方や車内への階段を利用できない方に好評です。

3. 郷土作家コーナーの設置について

杉山三代（杉山茂丸・夢野久作・杉山龍丸の親子三代）・安西均・福永武彦の著書をコーナーにまとめて利用者に提供しています。

作家の関係者から特別に寄贈を受けた作品が多数あり、当館のおすすめ資料となっています。

天に星 地に花

帚木 蓬生／著
集英社（2014）

著者の帚木蓬生（ははきぎ ほうせい）は小郡市出身の作家です。

令和元年度には小郡市のふるさと文化大使に就任されました。

『天に星 地に花』は、小郡市の偉人・高松凌雲の祖先をモデルとした小説で、主人公は医師高松凌水です。

江戸時代、九州久留米藩での悪政と飢饉や百姓たちの一揆騒動などを、庄屋の次男坊「庄十郎（のちの高松凌水）」の目を通してつづられた時代小説で、名医と慕われる医師にまで成長していく様子が描かれています。

舞台は小郡市、久留米市、うきは市で、小郡市の花立山、大靈石神社、靈鷲寺など、今でも実在する場所が出てきます。

『天に星 地に花』は久留米藩領を舞台とした「久留米藩三部作」のうちの1作でもあります。

他2作には、筑後川の水利事業に挑んだ五庄屋を描いた『水神』、大刀洗町の今村天主堂が建つまでの背景と潜伏キリシタンを描いた『守教』があります。ぜひ読んで、小郡市に足を運んでみてください。

福岡県立図書館

所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

四つの小さなパン切れ

マグダ・オランデール＝ラファン／[著]、高橋 啓／訳
みすず書房（2013）

戦争があるたびにどこかで取り沙汰される、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所で起きたこと。今繰り広げられている戦争の中でも話題にのぼり、近年映画化された『関心領域』のテーマにもなったものでした。

この本は政治的批判が目的ではなく「どう考えてどう生きたのか」という作者の記憶と経験を詩的な流れでぽつぽつと語るものです。その霧がかかった文字の隙間から無機質な事実がぬっと手を掴み、絶望の世界へ連れていかれそうになります。

けれども作者は強さ、つまり「自分で考え判断する力」をどこまでも捨てずに持ち続けた方でした。信仰する特定の宗教がない私でも、取りこぼされた人とパンの記憶から後年キリスト教へと向かう作者の在り方は分かる気がします。

「証言し、伝えること」にある子ども達へ向けた作者の言葉がとても心に沁み、食物に感謝してこの大切なパンを手渡していきたいと思いました。

福岡県立図書館

所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

春日市民図書館



春日市民図書館は、春日市の中心部に位置する春日市ふれあい文化センター内にあります。スポーツセンターや無料の駐車場が隣接しており、春日市内だけでなく周囲の自治体から多くの利用者が来館します。

蔵書数は約35万冊。人口約11万人の都市の中では豊富なのは自負しております。カウンターは3種類（貸出・返却、児童、ご案内・しらべもの）あり、利用者のニーズに合わせて細やかなサービスを提供しています。また、市内19ステーションを巡る移動図書館車も特徴の一つです。たんぽぽの綿毛が飛び立つように、図書館からみなさんに本を届けよう、という願いをこめて「たんぽぽ号」と名付けられました。地域の皆さんに愛され、現在3代目の黄色い車体が活躍中です。

今年度春日市民図書館は、30周年の節目を迎えることができました。読書はもちろん、おはなし会やイベント、本の特集コーナーなど、図書館で過ごす時間を楽しんでもらえたら嬉しいです。

Kasuga 春日市民も知らない、春日

福岡県春日市

株式会社宣伝会議（発売）（2022）

「春日市民も知らない、春日」をコンセプトに、春日市の魅力を紹介する冊子です。

春日市出身の歌手手嶌葵さんのスペシャルインタビュー、春日に米軍基地があった頃の話、地域のイチ押し飲食店など、ギュギュっと情報が詰まって読み応えも抜群。

春日市ってどんな所？と尋ねられたら、一番に紹介する郷土資料です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	×

大野城まどかぴあ図書館



大野城まどかぴあ図書館は2025年9・10月から新サービスを開始しています

★館外返却ボストの設置

本館の返却ボストに加え、新たにJR大野城駅、西鉄白木原駅、市内各コミュニティセンターのボストをご利用できます

★セルフ貸出機の設置

本の背表紙やバーコードを読み取り、貸出を行います

★読書シール機の導入

貸出中の本の情報をシールで発行できます。ご自身のノート等をお持ちいただき、読書記録としてご活用ください

★電子利用者カードでの貸出

スマートフォンでHPIにログインし、利用者カード番号の表示を行うことで貸出できます

★市内コミュニティセンターでの予約受け取り

予約時に受取希望館を各コミュニティセンターに選択し、準備ができたものを指定箇所へ配送します

★オンライン利用者登録

スマートフォンとマイナンバーを使って新規登録や有効期限の更新などができます

詳細は大野城まどかぴあ図書館HP等をご覧ください
ご利用お待ちしております

心も体ももっと、ととのう薬膳の食卓365日

川手 鮎子/著

自由国民社（2023）

図書館で気に入って書店で購入し、手元に置いて日々ページをめくる本のうちの1冊をご紹介します。季節の変わり目や体調のすぐれないときなど、生活を見直して毎日の食事に取り入れたい食材を探すときに活用している本です。

本書は1年を通して毎日の日付ごとにその時期にあった食材や薬膳の基本的な考え方方がカラーのイラスト付きで書かれており、眺めているだけでも季節の移ろいを感じられ、ゆったりとした気持ちになります。内容の一部を抜粋すると、冬は腎が冷えるため、体を温める食材として生姜や紫蘇、香辛料やもち米、羊肉、エビなどをとると良いそう。少し先のページまで読むと、花粉症対策や春の忙しさ対策として気の巡りを大事にすることが書かれており、意識をしておくことでストレス緩和につながりそうです。

同著者の他の著作には漢方養生に関するものもあり、併せて読むことで知識がより深まります。心身の健康を見直す機会にご一読ください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

宗像市民図書館中央館



宗像市民図書館中央館は、市内にある4館の中で最も規模の大きい図書館です。昭和63年7月に開館し、当初は「宗像ユリックス図書館」と呼ばれていましたが、平成15年の市町合併により今の名称になりました。

中央館のコンセプトは「市民の学びや文化を支える総合図書館」です。1階は一般書、児童書をはじめ雑誌・新聞コーナー、地域情報コーナーなどがあり、2階には参考図書コーナー、YAコーナー、調べ学習支援コーナーなどがあります。

毎年、市内の小中学生を対象に「宗像市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、児童生徒の調べ学習の支援に力を入れています。また、近年は、宗像市電子図書館、資料の有料郵送サービス、電子申請による利用登録など、来館しなくても受けられるWebサービスにも積極的に取り組んでいます。

線は、僕を描く

砥上 裕将／著
講談社 (2019)

砥上さんは、福岡県出身の水墨画家・作家です。デビュー作の小説『線は、僕を描く』で、第59回メフィスト賞、ブランチBOOK大賞2019を受賞。単行本の水墨画を砥上さん自身が描かれている点にも注目が集まり、漫画化や映画化もされて話題を呼びました。11月の宗像市読書月間講演会では、砥上さんの著作への想いや創作秘話、水墨画のライブパフォーマンスで参加者が魅了されました。

高校生の時に突然の交通事故で両親を亡くし、自分を見失い無気力な日々を送る大学1年生の青山くんが、展覧会設営バイトで水墨画の巨匠に出会い、次第に水墨画の世界に惹かれ、自分の輪郭を取り戻していく物語です。水墨画が描かれる際の描写と人物の心の動きが重なり、静かで温かい筆致が秀逸です。また、真摯な言葉で綴られる文章から自然の美しさや青山くんの成長が胸にひしひしと伝わり、臨場感あふれる読書体験になること間違いないとの冊です。

続編『一線の湖』も見逃せません。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

宗像市民図書館深田分館



世界遺産「宗像大社」のそば、世界遺産ガイダンス施設「海の道むなかた館」の中にある図書館です。蔵書冊数は約4万2千冊です。

「玄海町立図書館」という名称でスタートし、平成15年4月、宗像市と玄海町の合併で、現在の「宗像市民図書館深田分館（通称：深田分館）」に変りました。

館内は天井が高く柔らかな照明で落ち着いた雰囲気で読書をすることができます。

館のコンセプトは、「郷土の歴史・文化を学べる図書館」です。郷土資料コーナーが充実していて、宗像の歴史・文化を学ぶことができます。

毎月、第4土曜日にボランティアによるおはなし会を開催しています。

ほくとのみずくみ

平松 秋子／文、ほりうちひろこ／絵、平井 正則／監修
梓書院 (2019)

みなさんは、北斗七星を見たことがありますか？季節を問わず、北の空に見える北斗七星は水をくむ「ひしゃく」の形をしています。

秋の夜半に空を観察すると、北斗七星が北極星と水平線の間を西から東にくぐります。その様子は、まるで天のひしゃくは水をくんでいるように見えるため、「北斗の水くみ」と呼ばれています。

この自然現象が観察できるのは、北緯33度付近で、北に海や湖がある地域だけです。

宗像市には、深田分館から車で5分程度の場所に「北斗の水くみ海浜公園」があります。市民の有志が、子どもたちの自然体験の一助となるよう、絵本『ほくとのみずくみ』を発行しました。

絵本では、おばあちゃんが孫に、北極星のお母さんから天の神様にお供えする海の水をくんでくるお使いを頼まれた七つ星の子どもたちのお話を語ります。

みなさんもこの絵本を読んで、夜空に北斗七星を探してみてください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

宗像市民図書館 須恵分館



宗像市民図書館須恵分館は、サンリブくりえいと宗像のすぐそば、河東地区コミュニティセンターの中に入っています。公共交通機関でもアクセスしやすく、地域のみなさんに気軽に立ち寄っていただける、静かで落ち着いた空間の図書館です。

当館では、車がない方でも利用しやすいように、文庫本や新書など、持ち運びしやすく、ちょっとした時間にサッと読める本をたくさん揃えています。

またコミュニティセンター内にあるため、駐車場も広く、車でお越しの方も、ご利用しやすい場所です。小説はもちろん、暮らしに役立つ実用書や雑誌など、いろいろなジャンルの本があるので、きっとあなたの「読みたい！」が見つかるはずです。

子ども向けの絵本や物語のコーナーもありますので、みんなで、本とのふれあいを楽しんでいただけます。

「本を借りたいな」「読書でリフレッシュしたいな」と思われる際には、いつでもお気軽に立ち寄りください。

その〈男らしさ〉はどこからきたの？

小林美香/著

朝日新聞出版 (2025)

#クリニック広告ドヤ顔院長選手権
美容皮膚科や矯正歯科の広告、白衣の院長がやたら腕組みしてドヤってる？

#背景高層ビルおじさん
不動産広告のスーツのおじさん、背景に高層ビル背負いがち？

#大谷翔平崇拜
コスメデコルテの広告の大谷翔平、なんだか仏様っぽライティングで神々しい？
広告に出てくるこんな男性、気になりませんか？

スーツ/大股/集団/腹筋…CMやポスターに刷り込まれた「理想の男」のイメージはどこからきて、どんな影響を与えてきたのか。
今まで意識していなかった広告の問題点をあぶりだす良書です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

宗像市民図書館 久原分室 えほんのへや



宗像市民図書館から歩いて3~5分程、市民交流館・メイトム宗像の1階に「えほんのへや」があります。

「えほんのへや」という名前とおり、0~6歳向けの絵本を中心に揃えています。

また、絵本だけではなく他にも、保護者など大人向けの子育てに関する本・雑誌コーナーもあります。

子どもの手の届きやすい低めの書架になっているため、子どもたちは好きな絵本や気になる絵本を自由に手に取ることができます。

毎週金曜日のボランティアさんによるおはなし会は、毎回参加される方も多く人気のイベントとなっています。絵本や紙芝居の読み聞かせ、親子遊び、季節にちなんだわらべうたなど…盛りだくさんなイベントで、時間が過ぎるのがあっという間です。

おかあさんがおかあさんになった日

長野 ヒデ子/さく
童心社 (2015)

「あなたの生まれた日は、おかあさんがおかあさんになった日」

おかあさんがおかあさんになる前、そしておかあさんになった瞬間。

その時どんなことを思ってどんな時間を過ごしていたのでしょうか。

きっと、おはなしと読者それぞれの経験が結びつき、懐かしくなったりこれから未来にワクワクしたり、自分に対しても愛おしい気持ちが生まれる一冊です。

大切な日や日常に、一人でじっくり、家族で思い出を交えながら、ぜひ読んでみてください。

シリーズには「おとうさんがおとうさんになった日」、「おばあちゃんがおばあちゃんになった日」もあります。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

朝倉市図書館



平成18年3月に甘木市、朝倉町、杷木町が合併して発足した朝倉市には、合併前の各市町が運営していた図書館を引き継いだため、中央館・あさくら館・はき館の3つの図書館が存在します。

離れた場所に位置する3館が連携することで、市の中心部から遠い地域に住む方々も心地よく、また不便なく図書館を利用できるよう努めています。

また、各館がそれぞれの特色を活かしたサービスを提供しています。

中央館は多様な年齢層にあったサービスや市民向けの文学講座や歴史講座、読書講座の実施等を通して総合的な図書館としての機能を担っています。

あさくら館は移動図書館サービスの実施などを通して子どもの読書推進を中核に据えた児童サービスの充実を図っています。

はき館は地域住民の暮らしに役立つ図書館サービスを行い、地域の特性に沿ったサービスを提供しています。

今後も3館の連携を通して朝倉市民の読書推進に努めています。

伝染病に挑んだ人々 予防接種秋月物語

隈部 敏明／文、梶原 明彦／絵、朝倉市秋月博物館／監修
「予防接種は秋月藩から始まった」キャンペーン推進協議会 (2022)

2月14日はバレンタインデーで有名ですが、日本で初めて予防接種が成功した「予防接種記念日」でもあります。

世界中でたびたび流行し、多くの死者を出した「天然痘」。江戸時代に秋月でその「天然痘」に果敢に挑み、感染する前に「予防する」ことを実証し、日本の感染症対策に多大な影響を及ぼした秋月藩医・緒方春朔と彼を支えた二人の賢人について紹介された絵本です。日本の医療が病気の予防へと一歩踏み出した瞬間が朝倉市秋月という場所であったことを知ることができます。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

糸島市立図書館



こんにちは、糸島市立図書館です。本館と分館の3館体制で、糸島市と福岡都市圏の方にご利用いただいています。

当館の特徴の一つに「Y.A.本研究会」があります。糸島市在住・通学の中高生がメンバーで、同年代の読書推進のために活動してくれています。

分館ではそれぞれの地域の特性を生かし、二丈館は山や農業に関する資料を、志摩館は海に関する資料を積極的に収集しています。また、志摩館では外国にルーツをお持ちの方の利用が多いことから、洋書の児童書の収集にも、少しずつ力を入れています。

二丈館では、様々な年齢の方との交流の場という役割があります。また、CDやDVDもご利用いただけます。

糸島市は観光で訪れる方も多く、図書館でも尋ねられることがあります。地域の情報発信拠点として、「観光案内ができる司書」を目指しています。

ソイ・ストーリー まんが家はタイの小路をゆく | soi story

小林 真理子／著
KADOKAWA (2024)

福岡からひとつ飛び(飛行機で約5時間半)の国タイ。諸外国では「中国人と韓国人と日本人は見分けられない」という話を耳にしますが、なんと、タイの人はちゃんと見分けられるとか・・・。確かにタイ訪問中、日本語で話しかけられることがしばしば。よく言われることですが、それだけ親日家の人が多い国ということでしょうか。

見るべきもの、美味しい食べ物、そして優しく接して下さる現地の人々。タイは魅力にあふれる国です。バンコクを訪ると、そのメガシティぶりに驚きますが、ちょっと足を延ばすと、現地の人しか行かないお店や、歴史が感じられる風情がいたるところに存在しています。実際に行かないと体験できない自然体のタイに巡り合わせてくれるのが、この本です。

『ソイ・ストーリー』で行った気になるもよし、「絶対タイに行くぞ」とのモチベーションにするもよし。微笑みとマイペ朗の国を存分に堪能してください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
×	×

那珂川市図書館



緑豊かな那珂川市にある図書館は、平成4年にミリカローデン那珂川と共に設立、大規模な改修工事を経て令和6年6月にリニューアルオープンをしました。

図書館には約20万点の資料や約180の座席があり、平日も多くの方にご利用いただいています。「地域に愛され、だれでも利用できる図書館」として「知と地をつなぐ共創拠点」を目指しています。

人と本をつなげるはもちろん、館内での映画上映やミニコンサートなど幅広い文化と資料、そしてそこに集まる人々がつながるコミュニティステーションとなるよう年間を通していろんなイベントを準備しています。

令和7年4月には那珂川市移動図書館車「ミリカー」の運行も開始し、これまで以上にだれもが利用できる図書館を目指します。

きみが校長をやればいい 1年で国公立大合格者を0人→20人にした定員割れ私立女子商業高校の挑戦

柴山 翔太/著

日本能率協会マネジメントセンター (2023)

福岡市の南に隣接し、ベッドタウンと言われている那珂川市には、高校が1校あります。それが「福岡女子商業高等学校」です。以前は市立の学校でしたが、2017年に私立へ移管。この本は、福岡女子商業高等学校の現校長を務める柴山翔太さん本人が、これまで取り組んできた学校改革や校長の職に就いた時の話を、とてもリアルに書いています。高校生の就職や進学など将来に関する情報量の少なさ、生徒の「どうせ私は…」という自信の無さについて真摯に向き合い、「できること」から「やりたいこと」へ生徒の意識が変化しチャレンジしていく姿や、教育への強い想いにも感動します。

福岡女子商業高等学校へ着任して1年目に「きみが校長をやればいい」と言われ、「挑戦を、楽しめ。」をスローガンに奮闘されてきた柴山さんのお話は、教育関係者のみならず、全ての大人へ、そしてぜひ中高生にも読んでみてほしい1冊です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

宇美町立図書館



宇美町立図書館は、知識の泉として平成19年に開館。20周年を目前に控えています。宇美町地域交流センター「うみ・みらい館」1階に位置し、こどもから高齢者まで幅広い年代が気軽に訪れ、読書や学習する姿があり、交流スペースは様々な交流の場となっています。

吹き抜けの空間と豊富な本がある中でゆったり椅子に座り、まるで自分の書斎でひと時を過ごすような滞在型の図書館です。また未来を担う、こどもたちの読書活動を家庭や学校や地域社会と手を携えて進めています。館内の家読(うちどく)コーナーのほか「小学生読書リーダー養成講座」と「中学生読書サポーター養成講座」を毎年開催し、各学校で小学生は「おはなし会」の開催、中学生は「ビブリオバトル大会」を運営しています。このような取り組みが評価され、平成31年度「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰されました。

「幽霊と探偵」 シリーズ

山口 幸三郎/著

KADOKAWA (2022-)

宇美町ご出身の山口幸三郎先生の最新作をご紹介します。

山口幸三郎先生は「探偵・日暮旅人」シリーズ(既刊10巻)が、松坂桃李さん主演で2015年11月スペシャルドラマ化、好評につき2017年1月から3月まで連続ドラマ化されました。

宇美町立図書館の10周年記念事業では「山口幸三郎と語ろう」と題し「探偵・日暮旅人の帰還」とした講演と町内中学生との対談を行い、愛読者の生徒より熱烈な感想や質問が投げかけられ、丁寧に答えておられる様子が印象的でした。

当館内に山口先生のすべての著書と講演後に寄贈いただいた本で構成した「山口幸三郎文庫」を設置しています。

山口幸三郎先生の最新シリーズが、今回ご紹介する「幽霊と探偵」シリーズ(現在2巻までメディアワークス文庫より出版)です。元刑事の心優しい幽霊と元刑事の苦労の探偵の心温まる謎解きミステリー作品で、2巻では幽霊である人香(ひとか)の失踪の真相が明らかに!?

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

篠栗町立図書館



篠栗町立図書館では、町の魅力を感じられる資料をご用意しています。

豊かな自然に囲まれた篠栗町は、心と体を癒す場所としての

「森林セラピー基地」に認定されていて、図書館では森林浴に関する書籍を集めています。

また、篠栗四国霊場として多くの参拝者が訪れるお遍路文化にも注目。

霊場や巡礼に関する資料も揃えており、歴史や信仰に触ることができます。

自然と信仰が息づく篠栗町の魅力を、ぜひ図書館で感じてみてください。

篠栗四国八十八カ所霊場 公式ガイドブック

篠栗霊場会法青会／企画・編纂
篠栗霊場会法青会 (2023)

篠栗町にある南蔵院を一番札所とする篠栗四国八十八カ所霊場を紹介する本です。篠栗霊場の若い僧侶の会である篠栗霊場法青会のみなさんを中心に編纂・発行されました。所在地の移転や近隣の店舗など従来のガイド本から情報が新しくなっており、篠栗霊場に詳しい方々ならではの視点で書かれた紹介文は読むと実際に行って見てみたくなります。また、写真も多く、巻末付録には用語集・参拝図・宿泊施設案内・寺院の月ごとの行事一覧が載っています。この本を読んでから参拝するとより充実しそうです。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	○

志免町立町民図書館



こんにちは。
志免町立町民図書館です。

志免町は福岡市の右隣にある町で、日本一人口密度の高い町です。
図書館は志免町役場の右後ろの建物の3階にあり、志免町以外にも福岡市や糟屋郡内から色々な方が利用されています。

近くにイオンがあるので、食事や買い物のついでに利用できます。
土日には子ども連れの方も多く、活気あふれるにぎやかな図書館です(^^♪

昨年学習できるスペースを設け、学生のお客さんもどんどん増えています。
コンセントのついた席もあるのでパソコンでの作業もはかどりますよ！

みなさまのご来館お待ちしています♪

ホスピスさよならのスマイル

五味 宏基／写真、岩本 宣明／編
弦書房 (2008)

志免町にある栄光病院、西日本初のホスピスに入院した末期がんの徳永栄士さん。
最期を迎えるまでの日々の記録が写真とともに記されています。

家族や医療従事者、子どもたちとの関わりの中にある小さな喜び。

徳永さんの生きる姿から、ホスピスは死ぬまでの居場所ではなくその時が来るまで生きる場所だと分かります。

どう生きるのか、深い問い合わせる一冊です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
○	×

水巻町図書館



水巻町図書館は歴史資料館を併設した複合施設として、2000年に開館し、今年25周年を迎えてます。

町の中央部の丘陵地の一角で緑に囲まれた図書館・歴史資料館は、延べ床面積3,590m²、蔵書数は約16万点の町を愛する仲間が集うコミュニケーションと情報発信の場です。館内には、心地よいBGMが流れ、エントランスでは、定期的にボランティアによるピアノ演奏を行っています。また、バリアフリー建築により、床の段差や机、本棚の高さなど、細かい気配りがある、赤ちゃんから高齢者までみんなが楽しむことができる、人ととのふれあいを大切にした利用しやすい施設です。

併設する歴史資料館には、遠賀川式土器の資料や町の文化財などを展示している常設展示コーナーと企画展や町民ギャラリーとして利用できる企画展示コーナーがあります。

フリースタイル言語学 Freestyle Linguistics

川原繁人/著
大和書房 (2022)

言語学者の著者が、家族との日常、研究のエピソードなどを元に書いた、言語的思考をしていく科学エッセイです。学問についてのエッセイとは思えないほどコミカルな一冊です。

例えば、メイド喫茶のメイドさんの名前から「名前が性格の印象に与える影響」という研究へと話がつながっていきます。ア行（母音）やナ行・マ行・ヤ行・ラ行・ワ行の子音を含む音を「共鳴音」、カ行・サ行・タ行・ハ行・パ行などを「阻害音」と呼びます。共鳴音が含まれる名前のメイドさんは萌えタイプ=女性的な印象の人、阻害音が含まれる名前のメイドさんはツンタイプ=男性的な印象の人という傾向があるそうです。

他にも、日本語ラップやポケモンの名前の話題から言語学がどのように役に立つかなど、言語の面白さを感じる話題が豊富です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

岡垣サンリーアイ図書館



岡垣サンリーアイは、図書館や多目的ホール、スポーツのできるアリーナ等が備えられている大型複合施設です。岡垣町のランドマークとして、町内外から多くの人が訪れます。

木製の書棚が並ぶ図書館は、約90,000冊の蔵書と計5,000点以上の視聴覚資料等を所蔵しており、あらゆる年齢層の方が気軽に利用できます。図書館ボランティアによって作成された布の絵本が約100点あり、一般の方にも貸出をしています。毎週日曜日には、館内でおはなし会を実施しています。また、毎年秋の「図書館まつり」で様々なイベントを実施しています。

利用者のみなさんと密着した身近なサービスを心がけています。ぜひご来館ください。

エルマーのぼうけん

ルース・スタイルス・ガネット/著、渡辺茂男/訳
福音書店 (1966)

『エルマーのぼうけん』は、1948年にアメリカで出版、1963年には日本語版が刊行され、今なお読み継がれている世界的ベストセラーです。

ある晩、エルマーは年取ったのらねこから、「どうぶつ島」に囚われているかわいそうなりゅうの子どもの話を聞きます。エルマーはリュックサックにチューインガム、ももいろのぼうつきキャンパー、わごむやヘアブラシなどをつめて、りゅうを救う冒険の旅へ。どうぶつ島では、恐ろしい動物たちに次々と出くわしてしまい…。さて、エルマーはりゅうを助け出すことができるのでしょうか？

リュックサックの中身を使って、知恵と勇気で困難を乗り越えていくエルマー。いつの間にか、ページをめくる私たちのことも冒険へ連れて行ってくれます。

続く『エルマートリュウ』『エルマーと16ぴきのりゅう』もぜひ一緒に楽しんでください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

桂川町立図書館



桂川町立図書館は、誰もが安心して利用できる全面バリアフリー設計の図書館です。蔵書約9万冊を誇り、特に児童書が豊富で、絵本だけでも約1万7千冊を所蔵。館内には「おはなしの部屋」やティーンズルームもあり、子どもたちがのびのびと過ごせる空間が整っています。また、スマホやパソコンから24時間利用できる「けいせん町電子図書館」も導入し、読書の楽しみをもっと身近に。地域に根ざした知の拠点として、学びとふれあいの場を提供しています。

小泉八雲の怪談 スラよみ!現代語訳

小泉 八雲／作、松尾 清貴／訳
理論社 (2025)

『小泉八雲の怪談（スラよみ！現代語訳）』は、日本の伝説や民話を独自の感性で描いた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の怪談を、現代の中高生にも読みやすく訳した作品です。翻訳を手がけた松尾清貴氏は、福岡県桂川町の出身で、作家としても活躍中。原文の雰囲気を残しつつ、現代の読者が親しみやすい表現で再構成された本書は、古き良き日本の怪談の魅力を再発見させてくれます。怖いだけでなく、人間の哀しみや情も描かれた物語の数々は、時代を超えて心に響きます。地元ゆかりの作家が手がけた一冊として、ぜひ手に取ってみてください。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大刀洗町立図書館



大刀洗町は、筑後平野の北東、筑後川中流域北岸に位置する人口一万六千人余の町です。町の名前は、南北朝時代の武将・菊池武光が太刀を流水で洗ったという故事に由来しています。国指定重要文化財の今村天主堂と国史跡下高橋官衙遺跡があり、特産品は、米・麦・枝豆・レタス・小松菜などの新鮮野菜です。大刀洗町立図書館は、昭和52年公民館図書室から始まり、平成6年に町立図書館として開館、平成28年4月にリニューアル。令和7年7月で32年目を迎えます。「成長」をイメージする若草色をテーマカラーに、県産木材を多用した内装と木のオブジェがあり、温かみのある空間。蔵書数は、現在約84,000冊。館内で、ゆっくり落ちついて読書ができます。大刀洗町民在勤在学者または、久留米広域圏・朝倉市・筑前町・東峰村在住者が利用カード登録可能です。ご来館をお待ちしています。

涙の箱

ハン ガン／作、きむ ふな／訳
評論社 (2025)

ある村に暮らす特別な涙をもつ「涙つば」と呼ばれる子どもは、涙を売る黒い服の男と「青い明け方の鳥」に出会い、一緒に旅立った。ノーベル文学賞受賞作家によって綴られた心が温まる不思議な物語。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大木町図書・情報センター



図書館の扉を開けると、木目調のやさしい本棚が迎えてくれ、ふんわりとコーヒーの香りが漂ってきます。中央には、2階の赤ちゃん・児童・中高生コーナーへと続く木の階段があり、その先からは親子や子どもたちにぎやかな声が聞こえてきます。

お母さんが絵本を読み聞かせたり、布の絵本やフェルトのおもちゃで子どもと遊んだりする姿も見られます。奥のティーンズルームでは、中高生がカフェ風の椅子に座って友だちと談笑したり、本を選んだり。高校のパンフレットを手に、「なるには本」を読みながら学習する姿もあります。2階中央の図書コーナーでは、エッセイや大活字本を手に、ゆったりとくつろぐことができます。

1階の新聞・雑誌コーナーには、開館と同時に訪れる利用者が、コーヒーの香りに包まれながら静かに佇んでいます。一般資料コーナーでは、新刊や文庫、小説、専門書などを手に取る人々の姿が見られます。

奥には、北原大莞さん、加島香清さん、松永伍一さん、富安俊栄さんなど、郷土ゆかりの人物を紹介するコーナーも設けられています。

TRUE Colors YA! ジェンダーフリー・アンソロジー

小林 深雪／[著]、にかいどう 育／[著]、長谷川 まりる／[著]、如月 かずさ／[著]、水野 瑞見／[著]、菅野 雷虫／[著]、鎌谷 悠希／画・漫画
講談社 (2023)

この本は、自分と向き合える本だと思いま
す。気になったらぜひ読んでみてください。

男なのにかわいいものが好き
女なのに男っぽい服装

すてきだと思います。

自分が思う自分になろうと努力していること
はすてきなことです。

好きな服をきて、好きなことをしましょ！

(中学生 ハチさんの紹介)

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

広川町立図書館



広川町立図書館は平成26年7月、広川町民交流センター「いこっと」1階に開館しました。子育て支援センターや研修施設と併設しています。

図書蔵書能力は約10万冊。森林整備加速化・林業再生事業などの補助金を活用し、図書館部分はすべて木造平屋建てとなっています。館内では、一癖ある展示コーナーを多数設けています。読書の合間の息抜きに利用できるロビーやテラスもご用意しています。イベントとしては、図書館夏・冬まつりや図書館マルシェ、ビブリオバトルなどを行っています。今年度より、学生ボランティア活動や大人の読書会を実施しております。随時、イベントを行っていますので、詳しくは、HPをご覧ください。また、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

うろおぼえ一家のおかいもの

出口 かずみ／作
理論社 (2021)

あひるの一家は、そろいもそろって、うろおぼえです。何をするために早起きしたのか、何を買にいくのかすぐ忘れてしまいます。何か四角いものだった気がするけど、うろおぼえで…。

当館職員の間で話題沸騰、広報誌にて紹介しています。忙しい日々の中でつい、タイパやコスパばかり、気にしてしまうけれど、忘れてても、間違っても、また次につなげればいいと思わせてくれます。“うろおぼえ一家”の愛らしさっかり具合に身も心も休まる一冊です。

シリーズ本で現在4冊あります。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添田町立図書館



添田町立図書館は1997年に開館しました。現在の蔵書はおよそ6万冊です。

添田町に関する資料の収集や保存活用に重点をおいています。英彦山に関するパンフレット類、大正期の地域の新聞などもふくめ充実しています。CDやレコードなど添田町の歌なども収集しています。炭鉱で栄えた歴史があることから、炭鉱に関する資料は写真なども所蔵しています。また、資料の保存や修理についても重点をおき貴重な資料を伝えることができるようになっています。添田町の資料は、添田町の木を使って制作された書架に配架しています。

また、町民が集まって読書を楽しんだりする場としても活用されています。添田町読書会は毎月メンバーが集まって読んだ本の感想を話し合っています。大人向けのよみきかせ会や文学散歩、教養講座なども実施しています。

読書ボランティア活動も活発です。添田町虹の会は読み聞かせ、布の絵本制作、広報誌の音声化、おはなし会、小、中学校での読み聞かせなどの活動を図書館と協働で行っています。

三発目の”原爆” ニ又トンネル爆発体験

佐々木 盛弘|文と絵
福岡県人権研究所 (2010)

昭和20年11月12日、添田町落合のニ又トンネルにあった日本陸軍の火薬庫を米軍が爆破処理しようとしたが、残留火薬量を間違え山が二つに裂けるほどの大爆発を起こし、死者147名、負傷者149名を出す大惨事となった。

当時、小学校5年生であった著者の佐々木盛弘さんは、この爆発で父と姉を亡くし、自らも重傷を負った。

爆発から50年を経て、著者が当時を回想しながら、目撃した惨状と自分をかばって亡くなった父親との愛情に満ちた最期の瞬間を子どもの目線で描く。

著者は、本書の中で「書けなかったのは、あの地獄を思い出したくないこと。あの地獄の中の自分のことならともかく、周りの人のことを文字や絵にすることは、私にとっては、この上なくつらいこと。そして、脳裏に刻まれている重層の惨事を表現することは、私の力では、難し過ぎること。しかし、口先だけ平和を唱える人間にならないためにも、書かねばと思うようになりました」と述べている。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

苅田町立図書館



「工業の町・苅田町」と言われますが、「文化」の一つとして蔵書数約28万点を誇るわが苅田町立図書館は今年開館して35年目を迎えました。「学ぶ」「集う」「憩う」「すべての町民のための図書館」を目標に「本のある広場」として、多くの方々に利用されています。近年は図書館を取り巻く環境の変化もあり、「電子図書サービス」の利用も増えてまいりました。

また、地域のボランティアグループの活動の場として多くの利用者の方とのイベント（図書館まつり、読書週間まつりなど）を開催しています。

本館は天井が高く広々とした空間を作り、ゆったりと座れる読書スペースを確保しています。本館と分館（西部公民館図書室）、移動図書館「ふれあい号」の運行など身近に図書館と触れあう場所で、どこでもいつでも、読みたい本を提供していきたいと職員一同の想いがあります。

○アクセス：日豊本線苅田駅下車、徒歩15分

○休館日：月曜日・月末・特別整理期間・年末年始

○苅田町立図書館ホームページ：<https://kanda.libweb.jp/>

○図書館シンボルマーク
～～～親子で本を読むコアラ

こんとあき

林 明子／さく
福音館書店 (1989)

あきとあきのおばあちゃんが作ったキツネのぬいぐるみ「こん」のおはなし。

ロングセラーの絵本ですが、いつ読んでもじんわり泣けてきます。

あきが生まれときからそばにいる「こん」。どうとう「こん」の腕がほころびてしまい、「こん」の腕を直してもらうために、ふたりは一緒におばあちゃんの家を目指します。

ようやくおばあちゃんの住む駅に降り立ちますが、途中「さきゅう」に寄り道します。

はじめて、「さきゅう」をみた2人の後ろ姿がとてもよいのです。「さきゅう」の広さにも圧巻。

道中、大変なことに遭遇する「こん」ですが、あきの勇気ある行動で助けられます。

やっと、おばあちゃん家に着いた、あきと「こん」。そしておばあちゃんは、「こん」の腕を治せるのでしょうか。

かけがえのない存在であるあきと「こん」の冒險ものがたり。

キーワードは「だいじょうぶ、だいじょうぶ」。ほろりときます！

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

みやこ町図書館



みやこ町図書館は、開館以来、多くの町民の皆さんに「本のある憩いの場」として親しまれています。

仕切りのない開放的なワンフロアには、書架を取り囲むようにしてソファや畳、カーペットなど、様々な形の閲覧スペースがあり、小さなお子さんからご年配の方まで、お好きな場所でゆったりとお過ごしいただけます。

時折、子どもたちの元気な声が聞こえてきて、木の温もりと人の温かさを感じられる、やさしい雰囲気の図書館です。

所蔵している資料は、約20万冊の図書のほか、新聞や雑誌、DVDなどの視聴覚資料も充実しています。

特に季節や行事に合わせた特設コーナーは「新しい本と出会えた」と毎回好評です。

また、近くには町の歴史民俗博物館があり、みやこ町について調べる際に博物館と一緒に訪れる方も多くいらっしゃいます。

吉田兄弟物語 吉田増蔵・吉田健作、マンガふるさとの偉人

みやこ町マンガ製作活用検討委員会／編著・協力、もちろん しのぶ／マンガ、向山 康平／マンガ、井上 信隆／原作
みやこ町 (2023)

この本はみやこ町の歴史、偉人の功績をわかりやすく読んでもらうために、みやこ町が制作・発行したもの。

マンガであるため、中高生などでも気軽に手にとつてもらえると思います。

題材になっている吉田兄弟はみやこ町出身の人物です。どちらも明治時代に活躍していますが、兄の健作は日本の近代化のために、製麻業の発展が必要だと考え、フランスに渡り製麻業を学びます。帰国後、日本各地に大規模な工場を作り、日本の製麻業の発展に寄与しました。一方、弟の増蔵は元号

「昭和」を考案し、現在の上皇陛下の称号や名前の策定、天皇の勅語や総理大臣の寿詞など重要な人物が発する言葉の起草を行いました。

本の制作はみやこ町歴史民俗博物館の学芸員、絵の得意な職員という町職員コンビが携わっています。

なお、一般販売はされていませんが、みやこ町電子図書館で、ログイン不要でどなたでも読むことができます。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

福岡県立図書館



福岡県立図書館は、福岡市東区の筥崎宮そばにあります。

県内に一箇所の県立図書館なので、来館できない方にも様々なサービスを用意しています。

例えば、

- ◆最寄りの図書館へ本を取り寄せられる
- ◆いつでも！どこでも！電子書籍サービス
- ◆電話・インターネットで調べるもの相談ができる

もちろん、来館利用ならではのサービスもあります。

例えば、

- ◆豊富な参考図書やデータベース、司書による調査支援
- ◆「ふくおか」に特化した蔵書を用いた情報提供

近年は、読書バリアフリーや、ボードゲームを通じた読書活動推進にも力を入れています。

県民みんなの学びと読書を支える、福岡県立図書館です。

ことばの番人

高橋 秀実／著

集英社インターナショナル (2024)

読書は楽しいですね。樹液を吸うカブトムシのように知識を貯めるのも楽しいし、心の沼にドボンドボンと感動や教訓、哲学を投げ込んでいくのもまた楽しいです。

読書の楽しみは、文章から意味を読み取るためのルールによって支えられています。そんなことばのルールを司り、出版物として世に放たれる前に調整を行ってくれるのが、ことばの番人（校正者）です。

うっかりルール違反してしまった文章は、その価値を失ってしまう場合があります。句点の位置や助詞の用い方ひとつで、文章の意味は変化します。例えば医薬品の説明書は、一字間違っていただけで人の命にかかわります。校正者はそれらを正すのです。

この本は、様々な校正者へのインタビューも交えながら、校正という作業のもつ創造性と文章を読むという営みの不思議に迫ります。記号の認識と解釈、今まさに行っている行為について目の前の本から問われる所以、なんだかへんな気持ちになってしまいます。

テンポよく読めて知的な気分に浸れる一冊です。

福岡県立図書館	
所蔵	貸出用
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ご協力いただいた書店・図書館

オッキドッキ書店
麒麟書店
cuwano. Books Cafe Space
コトリノ・古書店
作本書店
書肆 吾輩堂
taramu books & café
テントセンブックス
ナツメ書店
ニワノホンヤ
羊の本屋
ひまわりこども書店
文久ブックストア 高宮駅前店
文喫 福岡天神
本のこんどう（近藤書店）
本屋くるり
LIBRIS KOBACO
LUMO BOOKS

福岡市総合図書館
大牟田市立図書館
久留米市立中央図書館
飯塚市立飯塚図書館
飯塚市立ちくぼ図書館
飯塚市立庄内図書館
飯塚市立穂波図書館
飯塚市立穎田図書館
田川市立図書館
筑後市立図書館
大川市立図書館
中間市民図書館
小郡市立図書館
筑紫野市民図書館
春日市民図書館
大野城まどかぴあ図書館
宗像市民図書館中央館
宗像市民図書館深田分館
宗像市民図書館須恵分館
宗像市民図書館久原分室
朝倉市図書館
糸島市立図書館
那珂川市図書館
宇美町立図書館
篠栗町立図書館
志免町立町民図書館
水巻町図書館
岡垣サンリーアイ図書館
桂川町立図書館
大刀洗町立図書館
大木町図書・情報センター
広川町立図書館
添田町立図書館
苅田町立図書館
みやこ町図書館



ウェブサイト
「福岡の出版社と書店」